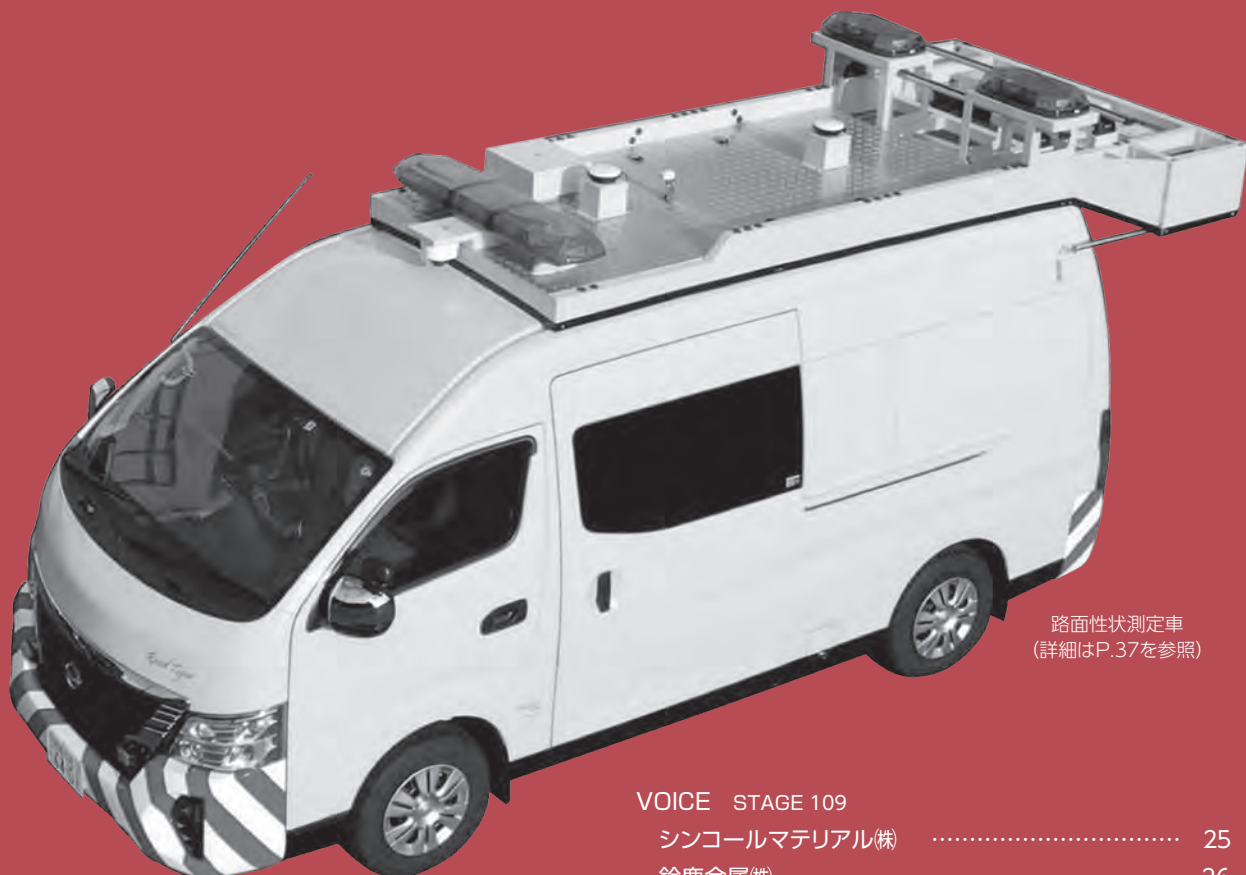


# 車体

# NEWS

## WINTER 2025 冬

JAPAN AUTO-BODY INDUSTRIES ASSOCIATION INC.

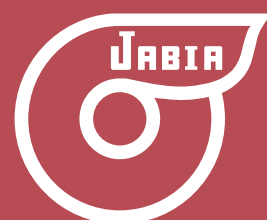


路面性状測定車  
(詳細はP.37を参照)

## CONTENTS

巻頭言	2
NEWS特集	
2025年度秋季会員大会を開催	3
講演会を開催 「心理的安全性のつくりかた」	4
ジャパンモビリティショー2025出展	5
カーボンニュートラル対応 第18回	7
コンプライアンス優先経営の徹底 第2回	8
2024年度会員企業の売上高／従業員数調査まとめ	9
NEWS FLASH	
本部だより	10
部会だより	13
支部だより	17
官公庁だより	19
会員情報	21
NET WORK vol.121	
(株)トーワ・自工	23

VOICE STAGE 109	
シンコールマテリアル(株)	25
鈴鹿金属(株)	26
そこが知りたい 第68回	
「生成AI」	27
働くクルマたち 第51回	
「路面性状測定車」	29
COFFEE BREAK	31
いどばた会議 第24回	
「私のSDGs Part15」	33
我が社の元気人	35
DATA FLASH	
2025年度4月～9月 会員生産状況	36
編集後記	37



# はたらくクルマを支える



## 油圧モータ

主にクレーンのウインチや旋回などに使用される、斜板式アキシャルピストン型の油圧モータです。軽量設計で高効率を実現し、省エネルギー化と車両性能の向上に貢献します。



## ウイングボデー開閉装置

トラック荷台（ウイング）の開閉を行う油圧装置です。フレームとタンクを一体化した構造により、軽量・コンパクトを実現。

さらにアルミ材の採用で軽量化を追求し、緊急時にはウイングを安全に降下させる強制降下機能も内蔵しています。



## コントロールバルブ

ラジコンなどの遠隔操作により、ポンプから供給される油圧をリニアに切り替えるバルブです。低コストながら、顧客ニーズに応えるスムーズな操作性を実現しています。



三輪精機株式会社

SANWA SEIKI LTD.

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台3-1-1

☎049-211-3001

<https://www.sanwaseiki.co.jp/>



## 資材部会創立60周年

資材部会長 市橋 康男  
市岡(株)・代表取締役社長



2025年4月の資材部会総会におきまして部会長を拝命しました、市岡(株)の市橋と申します。

日頃より部会会員の皆様には部会事業に対しまして、ご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。また、架装メーカーである、正会員の方々にも資材部会事業活動に対しまして深いご理解とご支援を賜り心より御礼を申し上げます。歴史ある車体工業会の資材部会長という大任ではありますが、会員の皆様のご支援、ご協力を賜りながら務めていきたいと存じますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

本年は、資材部会が設置されて、60年という節目にあたります。10年前には部会として「50年史」を制作し発行しました。部会長就任にあたり、改めて「50年史」に目を通しました。資材部会が架装メーカーと部品メーカーの強固な協力体制が求められる中「必要」とされて発足し、これまで架装メーカーとの強い連携をもって歩んできたこと等、その歴史の重みを改めて実感いたしました。これまでご尽力いただきました諸先輩方、会員の皆様のご活動に心より敬意を表します。これからも「必要」とされる「部会」として事業を進めていきたいと存じます。

60年という節目では、「50年史」からこれまでの10年の「軌跡」を残せたらと、「60周年記念事業委員会」を立ち上げました。貴重な資料を今後の未来に対し少しでも残していければと考えています。

現在の部会の事業の取り組みでは、「安全対策」、「環境(CN)対策」、「会員支援事業」に沿って進めています。

まず、「安全対策」では、車体工業会で取り組んでいる「JABIA素材登録」での難燃性試験実態調査委員会の活動があります。「JABIA登録」制度は当会の事業にとって、

とても重要な制度であります。この「JABIA登録」制度を今後も、適正に維持・継続していくため、資材部会で「難燃性試験実態調査委員会」を設置し、試験実施事業者の設備や試験方法、試験に対する技能が適正に実施されているか、調査をしています。

またフィルムグループでは、夜間の交通事故防止のため「再帰反射材」の貼付促進運動を実施しています。本年は会員の皆様に「再帰反射材のアンケート」をお願いし、多くの会員の皆様から回答をいただくことができました。会員の皆様には心より御礼を申し上げます。このアンケート結果を検討し、更なる安全対策の取り組みを進めていけたらと考えています。

次に、環境(CN)対策としてはエネルギー調査への対応、架装メーカーへの適正な環境対応製品の供給、さらに会員会社の自社の環境(CN)等の取り組みや製品について、機関紙「車体NEWS」を通してご紹介しています。

会員支援事業としては、業界の最新情報、需要動向、新技術の紹介などをテーマに、毎年講演会を開催して情報を発信しています。

私個人としても、一昨年開催しましたWILLER(株)の村瀬代表取締役による講演会「MaaSがもたらす輸送革命」でご紹介いただきました同社の取り組みに、とても感銘を受けました。今後も引き続き会員の皆様にとって有益な情報発信等に取り組んでいきたいと存じます。

最後に、資材部会は架装メーカーである正会員の皆様との連携を密に、コンプライアンスを遵守して、業界の発展に対して取り組んでまいります。

皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



# 2025年度秋季会員大会を開催



2025年度秋季会員大会が、10月31日、有明セントラルタワーホール&カンファレンスにおいて開催され、多くの会員が出席した。



富山 会長

## ■ 会長挨拶

会員の皆様には日頃より当会の活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

ようやく秋の気配を感じる穏やかな季節となりましたが、各地では記録的高温や大規模な林野火災、台風による豪雨被害など、気候変動対応の重要性を改めて感じさせられる年となりました。

もし、お困りのことがございましたら、ご遠慮なく当会事務局までご相談いただければと存じます。

それでは、当会を取り巻く状況についてお話しをさせていただきます。

まず、本年度4月から9月の当会会員の累計生産台数は、112万3千台となり、前年に対し108%と増加しました。

一方、委託生産車を除く、当会特有車は7万3千台となり、前年比98%となりました。

また、取り巻く環境につきましても、米国による中・大型トラックへの追加関税、長引く国際紛争や物価高騰等の影響もあり、先行きは不透明で、予断を許さない状況が続いています。

次に事業計画の進捗状況について少しお話しをさせていただきます。

今年度も、カーボンニュートラル対応、活性化活動、ガバナンスなど主要6項目について活動をしています。

「カーボンニュートラル対応」につきましては、本年度より「CNを正しく理解する」を推進してきたフェーズⅠから、有効策を実施し「CNの実現」を推進していくフェーズⅡへと移行しています。

そのために、CO2排出量削減事例や、補助金に関する情報などの発信強化と、アンケートを通じた各社の困りごとの改善を行っていきます。

また、お隣の東京ビッグサイトでは、一昨日より「ジャパンモビリティショー2025」が開催されています。

「活性化活動」として、当会も屋内 東6ホールにて「みんなが見たい 知りたい 楽しい」をコンセプトに展示をしています。

最後にガバナンスです。

事業者団体活動と独占禁止法(特に競争法)は紙一重であり、個々の判断で「これぐらい良いだろう」と思っていたことが、大変重い制裁へと繋がる場合があります。

これに対し、皆様自身そして会員会社をお守りするためにも、安心して活動できるルールの検討を進めております。一部、皆様にとってご不便をおかけする内容もあるかと思いますが、一人ひとりが自分事として受け止め、ご理解、ご協力をいただけますよう、お願いいたします。

以上のように、現時点では、概ね計画どおり進捗していると判断しております。下期も継続して推進をして参りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に会員各位の益々のご発展と、ご健勝を祈念いたしまして、開会の挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



## 講演会を開催

# 心理的安全性のつくりかた

自動車業界を中心に注目を集める「心理的安全性」について、その基礎的理解と実践的意義が紹介された。講師は、組織変革プロジェクトや役員研修、離職防止研修などの現場で培った知見をもとに、心理的安全性がいかに効果的な組織運営の鍵となるかを具体的に説明した。



(株)ZENTech 代表取締役  
石井 遼介 氏

## NEWS 特集

### 心理的安全性とは

心理的安全性とは、地位や経験に関わらず率直に意見や疑問を言い合える環境を指し、単なる衝突や迎合ではなく、成果や顧客価値に向けて建設的に本音をぶつけ合える状態です。工事現場での「安全第一」で例えるならば、工事そのものが危険なので工事をしないのではなく、安全に工事が進められるように保護具を着用するのと同様に、意見を言わないことが安全なのではなく、異論や挑戦をしても安心できる環境こそが心理的安全性なのです。

この環境が整うことで、個人のミスが組織全体の学びに転化され、チームの学習や意思決定の質が向上する。結果としてパフォーマンスやエンゲージメントが高まり、離職防止にもつながる。特に若手社員は心理的安全性の低さに敏感であり、離職要因となりやすいことが研究でも示されています。

また、誤解として「ぬるい職場」や「上司が部下に迎合する場」と捉えられがちだが、実際には高い基準と心理的安全性が相乗効

#### 心理的安全な組織・チームは

率直に「言い合える」チーム。



図表出典：心理的安全性のつくりかた「心理的安全性を高めるための実践」©2020 ZENTech

心理的安全な組織・チームは率直に「言い合える」が決して

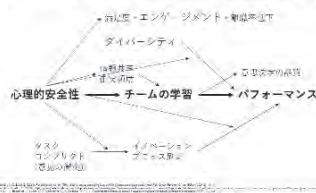


### 「心理的安全性」とは

地位や経験に関わらず

誰もが率直な意見・素朴な疑問を言うことができること

「チームの心理的安全性」が、チームの模索や挑戦による学習を通じて、パフォーマンスに貢献



高い仕事の基準を持って成果に向かっていくためにこそ「私はこう思います」が言える

基準/Standard	
低い	高い
<b>突飛的職場</b> コンタクトレス (仕事の完成度は低い)	<b>学習する職場</b> 困難を克服する (高い完成度は高い)
<b>サボイ職場</b> 失敗を恐る (失敗の責任を回避)	<b>キウイ職場</b> 困難を克服する (失敗の責任を回避)

果を生み、健全な衝突を通じて高い成果を導くことがデータでも確認されています。

### 御意文化

一方で、ヒエラルキーや「御意文化」が強い組織では、声が上がらず不正や事故につながりやすい。NASAのロケット事故の事例や、自動車業界におけるリコール問題を例に挙げ、声を上げられる環境が重要性です。

また、実際の組織の中では上司と部下双方がコミュニケーションに課題を抱えている現状を踏まえ、権力格差が心理的安全性を損なう要因であると言えます。

#### 御意文化

上司の何気ない「上が言っているから」という振る舞いが、ヒエラルキーを強化し「上の言う事へ付度する」文化をつくる



上司が一方向的に話しやすく部下が萎縮する状態でもない

部下がワガママや好き放題言っても上司が我慢する状態でもない

互いに成果に向けて、話ができる

### 見えている景色が異なる

解決の鍵は「見えている景色が異なる」ことを理解し、対話を通じて組織を立体的に捉えることです。心理的安全性は完璧な組織を作るものではなく、間違いを共有し学びながら成長するための基盤であり、これにより、組織は変化の激しい時代に柔軟に対応し、持続的な成果を上げることができます。

#### 対話する人々の

片方ではなく「相互が変わる」

可能性を秘めているものが対話

講演を通じて、心理的安全性が単なる理論ではなく、現場での実践を通じて組織文化に根付かせるべき基盤であり、今後ますます不可欠なテーマとなることが説明された。



# ジャパンモビリティショー2025出展



日本自動車車体工業会は、2025年10月31日～11月9日に開催されたジャパンモビリティショー2025において、屋内展示ブースを出展しました。

前回(2023年)は屋外で合同展示を行い、会員企業の車両を一堂に展示しましたが、今回は展示スペースの関係から屋内展示とし、当会取組み紹介をメインの展示構成に挑戦しました。

## 展示内容のポイント

### ● 車体工業会の取組み紹介

安全・環境への取組みや、はたらくクルマができるまでをわかりやすく動画やパネルで解説。

### ● 部会別代表モデルカー展示

各部会を代表するモデルカーを展示し、業界の多様性をアピール。

### ● 会員企業紹介パネル

会社名、製品の写真、製品名をパネルで紹介し、来場者に架装車両や会員企業の多さを伝えました。

## 親子で楽しめる工夫

今回の展示は、特に親子連れの来場者をターゲットにした構成としました。

子ども向けイベントとして「ぬり絵コーナー」を設置し、塗ってもらった“はたらくクルマ”をブース内の壁に自由に貼ってもらうことで、期間中にブースがどんどん華やかになりました。

その様子はJMS特設ホームページやInstagramで随時発信し、オンラインでも盛り上がり共有しました。

この結果、期間を通して約1,300枚のぬり絵を貼付させていただきました。



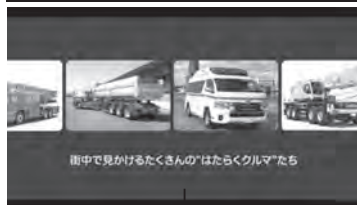
特設ホームページ

<https://laboratorio.co.jp/jabia/>



### ジャパンモビリティショー2025で笑顔満開！

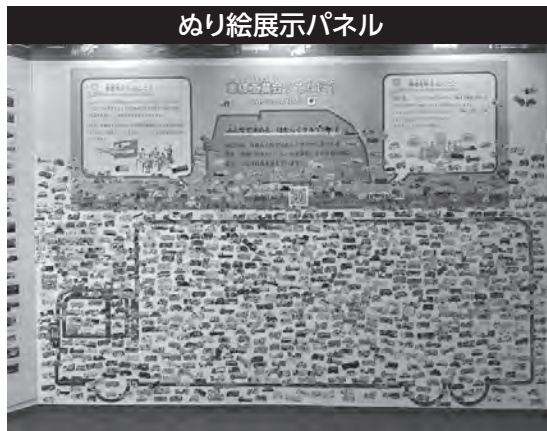
動画上映モニタ



はたらくクルマを動画で分かりやすく紹介



ぬり絵展示パネル



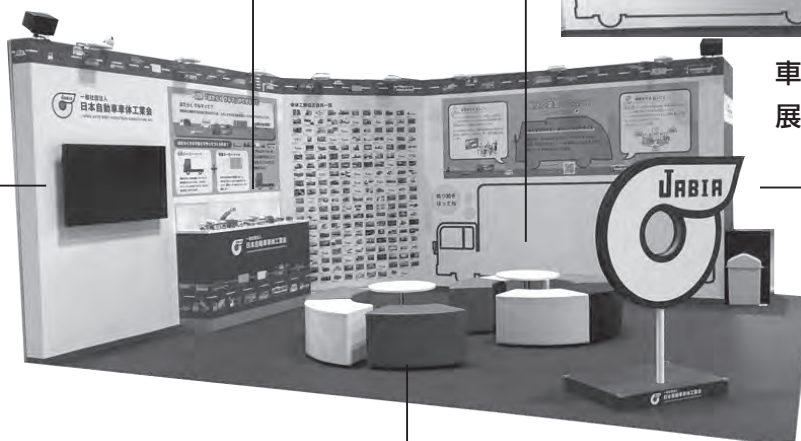
モデルカー展示



最終日には、パネルからはみ出すほど、たくさんのぬり絵が集まりました



車体工業会  
展示ブース



開催期間中は  
Instagram  
で情報発信



多くの親子連れで賑わったぬり絵コーナー

顔出しパネル



JABIAマークの顔出しパネルは、  
フォトスポットで人気

Instagram

[https://www.instagram.com/jabia\\_koho/](https://www.instagram.com/jabia_koho/)





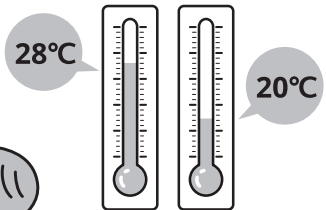
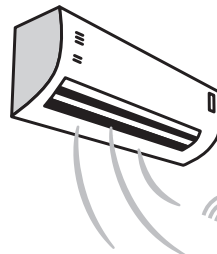
## カーボンニュートラル対応 第18回

- ・ 前回は「カーボンニュートラル(CN)とは何か」について紹介しました。  
CNは、CO<sub>2</sub>を減らす・吸収することで地球温暖化を防ぐ取り組みです。
- ・ 今回は、私たち一人ひとりが日常生活でできる工夫を紹介します。

日常生活でできるCO<sub>2</sub>削減の工夫

## 1. 家の中でできること

- ・ 照明はLEDに切り替える
- ・ エアコンの温度設定を見直す(冬20℃・夏28℃)
- ・ 家電を「待機電力ゼロ」にする
- ・ 節水シャワーヘッドや保温ポットで省エネ



## 2. 移動でできること

- ・ 徒歩や自転車を活用してCO<sub>2</sub>削減
- ・ 公共交通機関を利用する
- ・ 自動車はエコドライブを心がける(急発進しない・アイドリングストップ)



## 3. 食生活でできること

- ・ 地元産や旬の食材を選ぶ
- ・ 食べ残しや買いすぎを減らす
- ・ マイバッグ・マイボトルを持ち歩く

## 4. 職場・学校でできること

- ・ リモートワークの活用
- ・ コピーは両面印刷
- ・ 不要な電源はこまめにOFF
- ・ ペーパーレス化・デジタル化の推進
- ・ 再生可能エネルギーの活用
- ・ ごみの分別とリサイクルの徹底



## 5. まとめ

- ・ 小さな工夫が集まれば、大きな成果に
- ・ 家庭・職場・地域が協力し、未来の地球を守りましょう

## 次号(#3)予告

はたらくクルマのCO<sub>2</sub>削減への  
取り組みを紹介予定です。

## CN専用ホームページ

会員にとって有益な情報を継続して発信して参りますので、掲載要望やお気づきの点がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。

お問い合わせはこちら <https://www.jabia.or.jp/cn/contact/>

CO<sub>2</sub>排出量調査(2024年度実績)へのご協力依頼 (会員の皆様へ)

2050年のCN達成に向け、当会も2030年に向けたCO<sub>2</sub>排出量の目標値を掲げ、会員の皆様の排出量、省エネ量等の実態把握を行い、エネルギー削減につながる活動を進めて参ります。

以下項目のご提出をお願いいたします。

## &lt;調査項目&gt;

- |                             |                                    |
|-----------------------------|------------------------------------|
| ① エネルギー調査(2024年度実績)         | ② CO <sub>2</sub> 削減内容報告(2024年度実績) |
| ③ 省エネ・CO <sub>2</sub> 削減量報告 | ④ CN取組み目標アンケート                     |



# コンプライアンス優先経営の徹底 会員各社による独占禁止法対応に向けた活動紹介

## 第2回

## 中央業務委員会

中央業務委員会では、当会会員各社における独占禁止法(以下：独禁法)遵守を促進する社内風土(独禁法に関する知識や感度が高く、法令違反のリスクに事前に気づき、必要に応じて専門家へ相談できる風土)造りをサポートする活動を、今年度から行っております。

前回に引き続き今回も公正取引委員会ホームページ(以下：公取委HP)の紹介です。

公取委HPには、独禁法や中小受託取引適正化法(旧名:下請法)に関連する様々な資料が掲載されています。

### ●よくある質問コーナー(独占禁止法)

独禁法に関する一般的なQ&Aが39問(12月1日時点)掲載されています。

是非、社内教育・風土醸成へのご活用をご検討ください。

出展：公取委HP 独占禁止法

<https://www.jftc.go.jp/dk/>



### ●よくある質問コーナー



#### 主な質問事例

##### Q1

公正取引委員会が運用する独占禁止法の目的は何ですか。

##### Q2

独占禁止法の規制内容を教えてください。

##### Q6

事業者団体のどのような行為が禁止されているのですか。

##### Q25

中小事業者にとって独占禁止法等に関する身近な相談窓口としては、どのようなところがあるのでしょうか。

上記の回答はHPをご覧ください。

[https://www.jftc.go.jp/dk/dk\\_qa.html](https://www.jftc.go.jp/dk/dk_qa.html)



公取委相談先

<https://www.jftc.go.jp/soudan/jizen/>



# 2024年度会員企業の 売上高／従業員数調査まとめ



毎年実施している会員原簿調査結果について、本年度調査結果がまとまったので概要を報告する。(正会員対象に2025年7月に調査、売上高は2025年3月に最も近い決算期、従業員数は2025年3月末現在)

## 1. 売上高・生産台数・従業員数

- 1) 会員全体
- ・総売上高 7兆1,680億円(前年度比 102.4%)
  - ・総生産台数 217万2,916台(前年度比 106.0%)
  - ・総従業員数 72,017名(前年度比 102.7%)

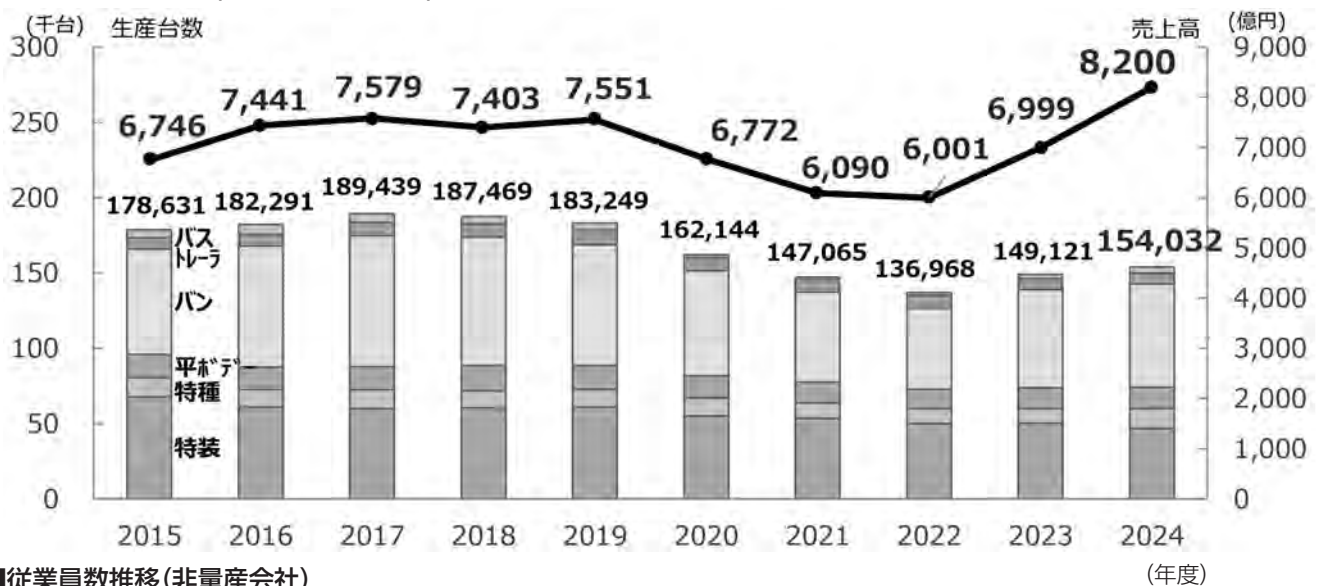
### ■売上高／生産台数／従業員数(工業会全体)

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
調査会員数(社)	186	188	195	195	198	202	209	211	212	217
売上高(億円)	54,437	57,166	57,927	61,087	64,457	63,136	50,285	56,861	67,637	71,680
生産台数(台)	2,178,644	2,208,784	2,168,032	2,235,938	2,211,598	2,071,776	1,837,380	1,880,206	2,145,384	2,172,916
従業員数(名)	52,523	54,492	54,676	58,803	61,022	59,776	59,998	59,512	70,139	72,017

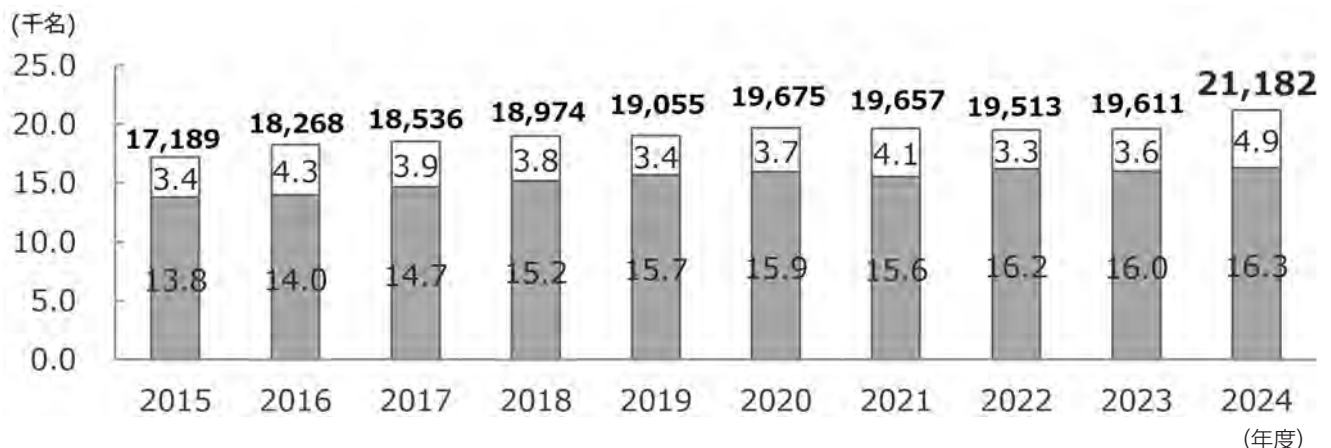
## 2) 非量産車製造会社

- ・総売上高 8,200億円(前年度比 117.2%)
- ・総生産台数 154,032台(前年度比 103.3%)  
内訳：前年割れ[特装93.3%,トレーラ95.9%] 前年比大幅増[特種132.7%,バス141.5%]
- ・総従業員数 21,182名(前年度比 108.6%)  
内訳：正社員(前年度比 100.6%)、期間工等(前年度比 147.3%)

### ■売上げ／生産台数(非量産車生産会社)



### ■従業員数推移(非量産会社)



## ■中央技術委員会車両後退通報装置検討WG 「保安基準第43条の10車両後退通報装置細 目告示第67条の6解説書」を作成

車両後退通報装置検討WG(座長・長田善彦・新明和工業(株)品質保証部長)は、2025年7月に車両後退通報装置(保安基準第43条の10車両後退通報装置細目告示第67条の6)解説書を発行した。

また、この解説書発行に伴い、8月25日に解説書の説明会を開催した。当日は自動車技術総合機構検査部検査課第一係長にもご出席を賜り、説明会には架装工事における車両後退通報装置の扱いを広く知ってもらうため当会会員だけではなく、日本自動車工業会、日本自動車輸入組合にもご参加いただいた。

説明会の質疑応答でいただいた質問事項については、車両後退通報装置検討WGで精査した上、解説書に追記し第2版として年内をめどに発信する予定となっている。

## ■「商用車架装物解体作業見学会並びに意見交換会」を実施

環境委員会架装物リサイクル分科会(分科会長・新井佳和・極東開発工業(株)技術本部営業技術部部長)では、11月7日に日本トラックリファインパーツ協会(以下JTP)、日本自動車リサイクル機構(同JAERA)主催の商用車架装物解体作業見学会に参加し、解体作業における課題等について意見交換を行った。

当日はJTP、JAERA、環境省、日本自動車工業会(同自工会)、当会より28名が参加し、(有)金沢商会(埼玉県三郷市)では塵芥車とシャシの解体作業を見学し、(株)やまたけ(埼玉県三郷市)では乗用車の車体をシュレッダー処理に適した状態に加工する中間処理作業を見学した。



(有)金沢商会



(株)やまたけ

作業見学後の意見交換会では、解体作業上の困りごとの聞き取りを行い、分別しにくい構造、作動油の処理、再資源化しにくい材質、タンク内残留物の処理徹底等についての要望があり、今後の活動テーマとして取り組んで行く。

また、当会が自工会と共同で推進する協力事業者制度においてFRPやリチウムイオン電池の処理対応、火災車両で発生する廃棄物の処理対応での問題等についても活発な意見交換が行われ、互いの課題を再認識する貴重な機会となった。

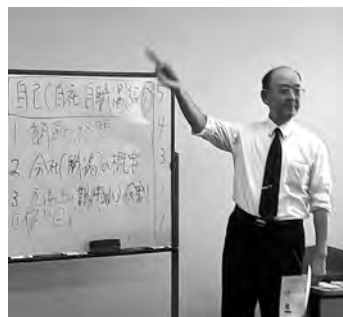
## ■中央業務委員会「管理監督者合同研修」を開催

中央業務委員会(委員長・矢野彰一・(株)矢野特殊自動車社長)は、11月21日に「管理監督者合同研修 “マネジメント力&コミュニケーション力向上” 講座」を当会会議室で開催し、14社20名が参加した。

本研修は、2015年度の特種部会主催「外部講師による合同研修」、2017年度の特種部会&中小会員ネットワーク強化WG主催「管理監督者層対象のマネジメント合同研修」を受けて、2018年度から中央業務委員会が主催しており、2023年度までは特装・特種・トラック・バン・トレーラ部会の中小会員限定であったが、2024年度から対象を全正会員に拡大し現在に至る。

今年度もPHP研究所の会場清晃氏を講師に招き、管理監督者として激動する社会情勢の中でより良き職場環境を築き、特に若手世代との良好な関係を保ちながら組織力を発揮するための“マネジメント力&コミュニケーション力向上”について、「凡事徹底」「曖昧排除」「率先垂範」をキーワードにしたグループやペア討議により、各自が学び気づく研修となっている。

参加者からは、「的を射た有効なコミュニケーションスキルを学べてありがたかった」、「当たり前のことを当たり前にやり続けることの大切さを再認識できた」、「職場だけでな



PHP研究所 会場講師



研修



く生活の中でも活かせると感じた」、「自分の課題が確認できた」、「他の管理監督者がどのような意見や考えを持っているのか聞けて良かった」、「新たな刺激をもらえた」、「他社の方も同じような悩みを抱えていることが分かった」、「講師の話しや進め方が上手く、笑いの絶えない楽しい研修だった」等のポジティブコメントが多く、平均満足度も4.4点(5点法)で今後の業務に役立つ有意義な研修であった。

本研修は毎年好評であり、会員間の横のつながり醸成の場としても有効であるため、次年度以降も継続開催していく。

## ■「現地現物による技能系社員研修」を開催

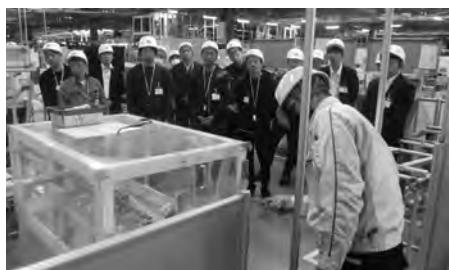
トヨタ自動車東日本(株)の協力のもと、11月6～7日の2日間にわたり、宮城大衡工場及びトヨタ東日本学園にて「現地現物による技能系社員研修」を実施した。今回の研修には6社12名が参加し、生産現場の人材育成を担う管理者層を中心に、“教わる側の視点”に立った教育手法を学んだ。

### 【1日目】安全体感・工場見学・技能別交流会

初日は安全体感研修からスタートし、労働災害が起こる要因や、ルールを守らない作業がどのような危険を招くかを体感。机上では得られない「危険の大きさ」を実感する機会となった。

続く工場見学では、JPN TAXI・シエンタ・ヤリスクロスの製造ラインを視察。工場内ではAGVによる部材搬送や、社員による改善活動から生まれた“からくり”が組み込まれた棚など、現場独自の工夫を数多く見る事ができた。また、見学ルートには「からくり改善マップ」が掲示され、これまでの改善事例を紹介いただくとともに宮城大衡工場以外の工場で行われた改善活動についても拝見することができた。

その後の技能別交流会では、講師である



1日目：安全体感研修

トヨタ自動車東日本(株)の管理監督者と、各社の参加者が人材育成や現場課題を共有し、翌日の研修に向けたアイスブレイクも兼ねた活発な意見交換がされていた。

### 【2日目】仕事の教え方・からくり制作

2日目は技能別に「仕事の教え方」を学ぶ研修となった。まず、講師が指示書を読み上げ、参加者がその内容だけを頼りに作業を行う形式を体験し、「言って聞かせるだけ」「やって見せるだけ」では正確に伝わらない難しさを学んだ後、続いて講師の実演付きで作業を進めることで、伝え

方の工夫や重要性を学び、その後技能別に教え方マニュアルに基づいて参加者自身が「どのように教えるか」を実際に試行した。

からくり制作では、初対面の2名が1チームとなり、限られた部材で課題を解決するから



2日目：からくり制作研修

くりを制作。コミュニケーションの大切さや、相手の意見を尊重しながら成果をつくる姿勢を学ぶ時間となった。

研修終了後、参加者からは「実際に体験・体感することで理解が深まった」「自社でも取り入れたい」との声が多く寄せられ、教える側だけでなく“教わる側の視点”を再確認できる有意義な研修となった。

## ■中小会員ネットワーク強化WG「2025年度第1回訪問ヒアリング」を実施

中小会員ネットワーク強化WG(リーダー・矢野彰一・(株)矢野特殊自動車社長)では、9月25日・26日に10社10名が参加し、オールセーフ(株)東北工場(宮城県大崎市)及び山田車体工業(株)仙台工場(宮城県富谷市)の訪問ヒアリング(工場見学)を行った。

オールセーフ(株)は、固定技術を通じて安全と安心を社会に提供することに取り組んでおり、陸・海・空での物流にかかせない



オールセーフ(株)  
ラッシングベルト製造工程

荷物固定用ラッシングベルトや各種固定器具・金具などを製造・販売している。会社概要プレゼンの後、主要製品の製造及び検査工程、資材倉庫等を見学したが、敷地中央には広くて緑豊かな中庭があり、工場内も非常に明るく綺麗で5S\*が行き届いていた。高い技術力や品質管理力に加えて、検査工程で1品1品全数の作動を黙々と確認している姿、ベルト縫製工程で熟練作業者が細いベルトを手動で複数縫い合わせて、幅30cm×長さ60mもの大きなベルトを生み出している姿、資材倉庫には類似形状部品一覧表を写真付で掲げて誤着防止を徹底している等、とても印象的であり、このようにして安全で安心な部品が生み出されていることを実感した。

山田車体工業(株)は、1946年創業から一貫してトラックボ

デーの開発と製造に邁進し、丁寧な手作業と高品質の製品づくりで業界のパイオニアとして多種多様なボデーを製造している。今



山田車体工業(株) トラック架装工場

回は、主に平ボデーやフラップ(ウイング)車を架装している仙台工場(1969年竣工)の4つの工場や検査場及び修理工場を見学した。1台1台オーダーメイドであることや、設計から完成まで全工程を自社で行っているからこそできることや美しさへのこだわりなど、担当者からの詳しい説明を聞きながら、参加者は積極的に質問をしていた。また、一般的に背の高いトラック架装には高所作業がつきものであるが、特装工場にある昇降式リフターはトラック1台が丸ごと工場床下まで降下するタイプになっており、作業者は高所に上らずに無理のない姿勢で安全に作業を行っていた。今回、高品質なボデー造りの秘訣を垣間見ることができ、非常に有意義な訪問ヒアリングとなった。

※5S：整理・整頓・清潔・清掃・躰(安全な職場環境造りや業務効率向上を目的とした取組み)

## ■安全衛生活動WG「工場見学」を実施

安全衛生活動WG(リーダー・立川浩二・日産車体(株)安全環境部長)では、10月14日に(株)浜名ワークス(静岡県浜松市)の見学会を実施した。

社内には1970年～現在までに製作された車両の遍歴が見られるよう写真が飾られており、来訪者にも気軽に自社の製作車両実績などを知ってもらおう取組みを感じた。工場内を周ると隅々まで5Sが徹底されており、これを維持する活動の一端として各部署の部長職がグループとなっ



車両運搬車製造工程

て、担当部署と別の視点で現場を見ることで新たな改善案を見つけることができる活動(全職場巡回)を定期的に行っている。

また、技術系の新入社員向けに各技術部門(溶接・塗装・鉄板曲げ)にトレーニングセンターを設けており、一定期間

の研修後、社内の試験を合格することで架装現場での実務となる。さらに車両運搬車は1台ごとに仕様が全く異なり、可動するユニットの調整・確認作業が多いことから車体の塗装前に架装部品を取り付け、組み付け後にマスキングを行って塗装をしている。こういったシチュエーションへ対応できる人材育成を視野に入れた意識の高さが伺えた。

さらに、全社員が毎年記入をしている安全目標が食堂に掲示されており、社員一丸となって会社全体で取り組む安全活動の一端を垣間見ること、参加委員も安全意識の高さを感じており、非常に有意義な工場見学となった。

## ■支部連絡会を開催

支部連絡会(議長・鈴木勇人・仙台鈴木自動車工業(株)社長)では10月7日、フェニックス工業(株)(広島県広島市)で支部連絡会及び工場見学会を実施した。

フェニックス工業(株)はトラックやバスのボデー製造・修理・整備等の他、バスのクリーンサービスも提供している。今回はトラックの製造・修理等を行っている第二工場を見学した。労働環境改善のために、第二工場の暑熱対策(今後も涼しくなることは無いとの判断)でエアコンを導入したものの、電気代や他工場との格差など課題は多いと伺った。

また、採用だけでなく、離職を防ぐためにも福利厚生に力を入れており、食費補助(非課税要件範囲であれば給料を上げるよりも会社・従業員ともに嬉しい)、クリスマスケーキ配布、入学祝い制度など、従業員とその家族を広くサポートしている。



フェニックス工業(株)

見学会を通じて、相互の困りごとや施策について意見交換を行い、参加者にとって参考になる有意義な見学会だった。

見学後は、支部連絡会を開催し、まず初めに連絡会では2/4期の支部活動報告を行った。

その後、今回から「良いとこ取り活動」として他支部での活動の参考になるような取組みや支部共通課題をトピックとして発表いただき、全支部参加のもと、活発な議論が行われた。支部活動の活性化や支部運営の効率化に向け、今後もこの活動を継続していく。

最後に、支部の在り方議論では、今後の支部運営の在り方を検討するうえでベースとなる「地域会員が車体工業会に入会している理由」等について意見交換を行い、今後の方向性を確認した。



## 特装部会

## ■特装車メンテナンスニュース

サービス委員会(委員長・嶋田弘明・新明和工業(株)サービス本部サービス部長兼サービス部長)は、2025年9月に特装車メンテナンスニュースNo.60(ダンプ編)を発行した。

ダンプは毎日の積載物(土砂等)運搬・荷降ろし作業にて高い負荷がかかっている。

駆動装置、可動部、作動油等は日々ダメージを受けているので、定期的な装置の状況の確認が必要なことのほか、過積載はダンプ装置だけではなく、車両にも無理な荷重が掛り、重大な故障や事故の原因となることを紹介している。



P.22に掲載

## トラック部会

## ■技術委員会工場見学会を実施

技術委員会(委員長・岸本友介・NX商事(株)設計第一課課長)では、10月9日に9社9名が参加し(株)NICHIOを見学した。

(株)NICHIOは1962年4月、鉄道除雪に画期的な成功を収めた留萌鉄道(株)の除雪機関車の技術と長年の経験を活かして、北海道をはじめとするその他降雪地帯における冬季陸上交通を確保する目的として設立。その後、逐年除雪作業の多様化に即応して、除雪機械の研究と開発を進めた結果、現在は業界の主導的地盤を確保しており、蓄積された技術に更なる磨きをかけ軌道用保守車両、重量物運搬車、産業用特殊車両等の開発・製造を行うとともに、時代の要請に応えるべく新技術の開発により総合特殊車両メーカーとして、社会貢献を推し進めている。

工場見学では、凍結防止剤散布車、ロータリ除雪車の製作(ハーネス内張の製作→除雪車組立ライン→製缶部門)を

見学した。ロータリ除雪車には専用の電気配線が使用されるため、ハーネス製作ラインではロータリ除雪車へ使用する配線を一から自社で内製しており、製作後は診断器を使い、全数配線の間違いが無いか確認をしている。またキャビン内に取り付けられる内張り(内装)などもすべて内製で、ハーネス製作ラインで生産されている。

除雪車組み立てラインではフロント及びリアシャシ組立→エンジン及び座席シート組立→ボンネット組立、油圧機器ホース・電気配線及びボンネット取付及びキャビン組立→燃料・各種オイル充填及びエンジン始動→除雪装置組立及び装着というプロセスを経て完成検査を行っている。

製缶部門と呼ばれる行程では車体の、フロントフレーム・リアフレーム・キャビン・ボンネット・燃料タンク・オイルタンク等や、除雪装置の除雪棒・オーガ※1・ブロー・ブローケース・シュートなどを内製しており、さらに燃料タンクとオーガは溶接ロボットを導入し製作していた。

年間の生産台数はロータリー除雪車・凍結防止剤散布車共に約80台程、そのほかにも融雪剤の貯蔵タンク製作なども行っている。荷台の架装をメインとする架装メーカーとは違い、船や鉄道車両に近いイメージの製造現場であった。

※1: 雪を砕いて飛ばすための部品



## 特種部会

## ■第2回工場見学会を実施

特種部会(部会長・森孝義・中京車体工業(株)社長)では、11月27日に15社29名が参加し、(株)加藤製作所茨城工場(茨城県五霞町)を見学した。

1895年に個人事業として加藤鉄工所を創業し、内燃機関車および鉄道用モーターカーの製作を経て1935年に(株)加藤製作所を設立。建機メーカーのパイオニアとして130年の歴史を持つ。

はじめに会社概要、製品紹介等をお聞きし、建設用クレーンの主力製品であるラフテレーンクレーン、オールテレーンクレーン、及び高速路面清掃車、万能吸引車の製造工程を見学。大型車両の迫力に圧倒され、製造はもちろ





ん、設計、品質管理の厳しさを学ぶことができた。

今回、若手社員の自己研鑽を目的に工場見学を行ったが、5Sの行き届いた大変きれいな工場は見習うべき点が多々あり、質疑において人材育成、安全への取組みなど多数の質問が寄せられ、参加者にとって大変参考となる見学会となった。

なお、特種部会では今年度1月に第3回の工場見学を予定している。

## バン部会

### ■工場見学会を実施

バン部会(部会長・田中俊和・日本フルハーフ(株)社長)では、10月7日に11社21名が参加し、(株)アイパワークスを見学した。

(株)アイパワークスは長野県塩尻市で1964年に創業。自動車钣金修理業からはじまり、1979年にラリー車両の車体チューニングショップとして転業、ラリーパーツの製造・販売を始める。1985年にはラリー車両規定の改定により、マーケットが衰退したため、大衆化しつつあった四輪駆動車の部品の製造・販売へシフトし、1989年にはトヨタ・日産系等、ほとんどの自動車メーカーにライン部品・純正部品として納入を開始をするなど、業務拡張に伴い工場を新設して現在の架装業に事業転換を行った。

小・中型トラックの前面へ取り付ける除雪装置の「スノープラウ」開発などをはじめ、様々な事業展開を行っており、主力製品であるスライドデッキとセルフデッキは「軽量化」と「耐久性」に特に力を入れ、寒冷地の融雪剤による腐食対策として高強度ステンレス鋼を使用、またシャシとステンレス鋼の電蝕現象による腐食を最小限にするため、高張力焼入鋼(スウェーデン鋼)を介して組付けをして板厚を薄くし、なおかつ耐久性を向上したうえで大幅な軽量化と低床化を実現している。

工場内には国内でも2台しかない1,000トン13m折り曲げプレス機が導入されており、これに合わせて新工場を設立するなど、常に技術力の向上を図っていることが伺えた。架装に使用される部材にもこだわっており、2~3年分



の使用部材をあらかじめ海外から輸入して工場内でストックしている。使用する鋼材の種類は50を超え、架装する車両、部品によってさまざまなバリエーションの展開を可能とし、これによってユーザーの要望にも応えることができ、顧客満足度の高い架装をしていくための企業努力が伺えた。

## バス部会

### ■工場見学会を実施

バス部会(部会長・藤岡佳一郎・三菱ふそうバス製造(株)社長)では、10月16日・17日、5社20名が参加して、「人の命を載せるもの/運ぶもの、異業種見学を通じてその大切さ



電車とバスの博物館

1975年日本初デマンドバス「東急コーチ」を確認する参加者

をあらためて学び、その重みを感じ取ること」をテーマに、三菱ふそうトラック・バス(株)本社・川崎製作所(神奈川県川崎市)、電車とバスの博物館(同)、JALメンテナンスセンター(東京都大田区羽田空港)の見学会を実施した。

三菱ふそうトラック・バス(株)は、5S\*が隅々まで行き届いており、各種オイルや溶剤等の臭いもせず、綺麗で明るくてとてもクリーンな工場であった。直線的にレイアウトされたメインラインや自動化&デジタル化(ペーパーレス)の推進により、大型/中型/小型/小型EVの混流生産を実現されており、効率化と高品質への工夫やこだわり、安全への責任感や意識の高さを感じ取ることができた。また、天地逆になったフレームに部品を組付けていくアクスル行程をはじめ、随所に安全性と作業者の身体負担軽減になる工夫や改善が見られた。

電車とバスの博物館では、昭和に活躍した車両や各種展示物を見ることで、技術の進化や安全性向上、公共交通機関の使命を改めて実感した。また、電車やバス運行に関わる数多くの仕事を知ることで、多くの人の努力に支えられていることやその大切さを再確認すると共に、来場していた園児達の笑顔を見て、バス造りの喜びと大切な命を乗せる責任を再認識した。

JALメンテナンスセンターのJAL SKY MUSEUMでは、創成期から現在にいたるまでの航空サービスや史料の閲覧やスタッフの仕事、空旅の安心・安全の造り方を学び、国際線機内食の試食では、食の安全や品質確保について

説明を受けた。徹底した温度管理やパイロット別にメニューを変えるリスク管理等、参加者は一同に感心していた。実際に整備を行う格納庫では、航空機が10機も入る大きさに驚愕しつつ、整備メニューや設備・ツールの5S徹底や高い安全意識を実感し、元整備士によるエンジン解説では、安全性や整備性を考慮した設計やミリ単位の精度が必要なことなどを学んだ。また、大勢のスタッフによる出迎えから見送りまで、終始我々へのおもてなしや配慮に感動した。

参加者からは、自業務においても安全意識を高め、お客様視点を忘れないようにし、お客様に感動していただける仕事を目指したい、社内の中堅・若手のレベルアップに繋がっていきたい、との声が聞かれ、人の命や安全の大切さを感じると共に、参加者自身の仕事の責任感や意味、誇りを改めて考える貴重な体験となった。

※5S：整理・整頓・清潔・清掃・躰（安全な職場環境造りや業務効率向上を目的とした取り組み）



JALメンテナンスセンター格納庫  
元整備士によるエンジン解説を聞く参加者

## ■塗装技術者向け勉強会を開催

塗装デザイン研究会（委員長・手塚学・ジェイ・バス㈱製造部管理課課長）は、11月27日に関西ペイント㈱ARC西日本（兵庫県尼崎市）において、自動車の補修塗装をテーマにした「2025年度 塗装技術者向け勉強会」を開催した。

本勉強会は少量多品種の塗装をしている会員に役立つ知識やテクニック・ノウハウを提供する場として、資材部会の塗料メーカー協力の下で2009年から実施しており、バス部会以外にも広く募集し13社13名が参加した。一昨年末までの勉強会は座学と講師実演の見学のみであったのに



参加者による塗装実習

対し、昨年初めて選抜者による実習を取り入れて非常に好評だったことから、今回は参加者全員が実習を行う形式に変更した。関西ペイント㈱の塗装エキスパート4名が講師になり、「塗装実習」と「VR塗装体験」を2班に分かれて実施した。実習では、2人1組でドアパネルへのソリッド塗装を講師の説明を聞きながら真剣に行っていた。VR塗装では、ガン軌跡や角度、パネルとの距離や、膜厚、塗りムラの有無などが可視化できるため、自分の癖を知る絶好の機会となった。またメタリック塗装の注意点説明や水性塗料の紹介など、参加者は学びながら適宜講師に質問しており、この勉強会を有効に活用していた。

参加者からは、「実際に塗りながらいろいろ質問できたので良かった」、「長く塗装をやっているが、あらためて基本の振り返りができた」、「適切なアドバイスをもらうことができた」、「ムラになる原因が理解できた」、「社内教育に活かせる指導内容を学べた」、「VRで自分の塗装癖や改善点を数値的に見て分析ができた」等の声が聞かれ、今後の自職場で活かせる大変有意義な勉強会であった。



参加者によるVR塗装体験

## 小型部会

### ■異業種視察を実施

経営企画部門委員会（委員長・林田慎太郎・トヨタ自動車東日本㈱領域長）と技術委員会（委員長・荻和直人・トヨタ車体㈱参事）共催で、以下2点を目的に9月17日に4社7名が参加し、寒天の製造・販売を主力事業とする伊那食品工業㈱（長野県伊那市）を視察した。（事務局研修として事務局員4名も同行）

- ① 部会会員間並びに訪問先（異業種企業）との『相互研鑽』&『繋がり』の醸成
- ② 年輪経営<sup>※1</sup>で知られる伊那食品工業㈱の企業風土・働きやすい職場醸成のための施策を学び自社活動へ反映する

※1 急成長を目指すのではなく、地道に成長を続けることを重視し、成長の数値目標を掲げず、前年を下回らないことを重視。その結果、創業以来48年間増収増益を達成し、その経営手法に関心を持つ多くの企業が見学に訪れている。

到着後、初めにレストランで昼食を取り、ガーデンの視察を行った。

伊那食品工業(株)では、地域貢献(活性化)を目的に広大な敷地に自然豊かなガーデン、レストラン、ショップを整備し、誰でも入れるように守衛を置かず運営。視察した日も多くの地域住民や観光客が訪れており、活性化に大きく貢献されていることが実感できた。

また、その運営は外部に委託するのではなく、従業員がしているとのことだが、設備はとてもきれいで、接客も丁寧で、しっかりと企業理念が浸透していることを実感した。

その後、場所を講堂に移し、塚越社長より講話をいただいた。

講話の冒頭では、社是である「いい会社をつくりましょう～たくましく そして やさしく～」それぞれの言葉に込めた想いを以下の通り説明いただいた。

**いい会社：**自分たち(従業員)を含めすべての人々をハッピーにできる会社(ハピネスこそ人間社会すべての究極の目的)

**たくましく：**手を抜かず、仕事に一生懸命取り組むこと 自分を律し、その厳しさに耐えること 永続していく強い会社

**やさしく：**他人を思いやること

そして、この社是をもとに実践されている様々な取り組みの一例として以下の活動を紹介いただいた。

1) 従業員はファミリーであるとの考えから、給与は年功序列とし、業績に関わらず毎年少しずつで良いから上げる

※ 毎年少しずつでも確実に上がると、従業員は安心し、結果、夢・希望・やりがいをもって仕事ができ、幸せに働ける

2) 外的要因が入る数値目標・計画は設けていない(例：売り上げ目標、中期経営計画)

※ 外的要因で数字が変わるたびに、労力をかけて見直すよりも、目の前にある今よりも良くなるためにやるべきことに注力する

※ 現場では自分達で目標を決めているが、経営側からそれを訊くことは無い(経営が数字を示すと自分事としにくい)

3) 企業風土を浸透させていくための取り組み

※ 上下の信頼関係の構築(=マネージャーは嘘をつかないこと) 嘘をつくとは、社員の幸せが大切と言いながら、業績で給与を決める等、言っていることと行動が伴わないこと

※ 全員で共通の価値観を持つ

その後、参加した各委員の質問に対して、「年輪経営」の考え方をベースとしたアドバイスをいただいた。

参加した小型部会会員・事務局員にとっては従来の考え方とは全く異なる視点・考え方に触れることができ、多くの気づきがある非常に有意義な視察となった。

## 資材部会

### ■第一分科会見学会を実施

第一分科会(部会長・市橋康男・市岡(株)社長)では、9月26日に13社16名が参加し、日本科学未来館(東京都江東区)を見学した。

日本科学未来館は、発展著しい江東区青海にある大人も子どもも楽しめる施設である。「科学技術を文化として捉え、社会に対する役割と未来の可能性について考え、語り合うための、すべての人々にひらかれた場」を設立の理念とし、2001年7月に開館した。人種も国籍も関係なく、最先端の科学技術でそれぞれが思い描く未来を叶えるために、「人の未来」を考えると、「未来」をつくること、「みんなでつくる」こと、「未来をつくる人」をつくること、そして「サステナビリティ」と「アクセシビリティ」を「Miraikanビジョン2030」として掲げている。

常設展では、1～5階に展示されている「Geo-Cosmos ジオ・コスモス」で地球のありのままの姿を見学。3階では「計算機と自然、計算機の



自然」「未来逆算思考」「アンドロイド」などが展示されていた。6階ドームシアターでは宇宙や科学を体験でき、5階常設展「世界をさぐる」では、「ニュートリノから探る宇宙」「こちら、国際宇宙ステーション」「ともに進める医療」「細胞たち研究開発中」などから普段見えない世界を学ぶことができた。

今回の目玉である特別展では、「アルテミス計画」のために日本が開発している有人月面探査車の実物大模型が世界初公開されていた。大画面で体感する火星ツアーなど、最新宇宙探査技術とその成果を知ることができた。月を超えて、火星、更なる深宇宙へと人類の新たな挑戦を体感できた。

今回の特別展は、JAXA、国立天文台、東京大学をはじめとする日本の主要な宇宙研究開発機関に加え、宇宙開発に携わる多くの企業・団体の協力により実現した。

今回の見学を通して、普段あまり「宇宙」を意





識することなく生活しているが、現在の進められている取組みが分かりやすく説明されていて、とても貴重な研修となった。



## ■第二分科会見学会を実施

第二分科会(部会長・市橋康男・市岡(株)社長)では、10月17日に17社17名が参加し、トラスコ中山(株)プラネット埼玉(埼玉県幸手市)を見学した。

トラスコ中山(株)は、1959年創業された生産現場が必要とする工場用副資材(プロツール)の卸売業で「プライベートブランド」の企画・開発・販売も行っており、仕入先は3,637社、得意先を5,652社かかえている。企業の志は、「人や社会のお役にたてこそ事業であり、企業である」「問屋を極める、究める」。事業戦略は「在庫力×物流力」、在庫アイテムは61万アイテム。

プラネット埼玉は、映画の撮影が行われたり、テレビでも紹介されたりと、知名度もあり、トラスコ中山(株)で一番大きい物流センターである。開設は2018年10月1日。敷地面積は47,261.43㎡、免震構造を備えた地上4階建て、239名(社員73名・パート社員166名)が働いている。

最大の特徴は、在庫力を支える「自動機械」の導入。収納は「オートストア」、搬送は「AMR(自動搬送ロボット)」、梱包は「I-PACK(包装システム)」、出荷は「SAS(システムストーリー)」と自動化をフル活用することにより、仕分け、搬送等の手間を大幅に削減している。

同センターでは免震化にも力を入れている。東日本大震災の時に、東北の物流倉庫が必要なときに出荷することができなかった悔しい思いがあり、社長の「いざというときにこそ、物を届けるのが『物流』である」との強い信念からきている。

研修会当日は、若い1年生社員が勉強も兼ねて説明等してくれたが、とても分かりやすく、新しい人を、どんどん鍛えていく社風が感じられた。食堂や託児所も見学することが



でき、同社の働き方への前向きな姿勢も感じられた。プラネット埼玉はテレビ等で何度も紹介されているが、実際の見学は迫力が違う。現在、新潟や愛知で、物流センターを建設中で2026年には完成予定とのこと。質疑応答も活発に行われ、とても充実した研修会となった。



## 支部だより

NEWS+FLASH

### 北海道支部

#### ■支部役員会・合同部会開催

北海道支部(支部長・村松寛明・北海道車体(株)社長)では、9月10日に10社11名が参加し役員会を開催した。その後、14社16名で合同部会も実施した。

開催に先立ち事務局から「事業者団体の活動に関する独占禁止法の指針」について内容説明を行った。

役員会は、村松支部長の開催の挨拶から始まり、これからの支部活動・部会の在り方などが討議され、現在の状況では活動内容の修正が必要であることを確認した。

合同部会では、各部長よりそれぞれの近況・活動報告があり、最後に7月に新規加入したトプレック(株)北海道営業部今井管理本部長からご挨拶をいただいて閉会した。

### 近畿支部

#### ■第14回製造部会を実施

近畿支部(支部長・須河車体(株)須河進一社長)は7月18日、18社37名が参加し、(株)アルナ矢野特車(滋賀県米原市)で製造部会を実施した。

今回の製造部会では、環境活動に熱心な企業としてCNと結び付けての見学会とした。同会社は環境経営レポートとして毎年自社のHPにて社員全員が一体となり各科目に

対し取り組んでおられる状況が垣間見られた。環境負荷の実績、経営科目等も常に目標を立て日々お仕事をされていた。



工場内も、整理整頓が行き届いており、工場内空調においても計画的に段階的に進めておられ、従業員にも優



しく仕事しやすい現場環境に努めておられ、相対した従業員の方も見学者に対ししっかりと挨拶等の対応をしていた。また学んだ内容を自社に持ち帰り展開する良いきっかけとなり、大変有意義な見学会となった。

## ■研修会を実施

近畿支部(支部長・須河進一・須河車体(株)社長)は、10月17日15社22名が参加しジェイ・バス(株)小松工場で研修会を実施した。

ジェイ・バス(株)はいすゞ自動車(株)と日野自動車(株)の共同出資によりできた会社で、各親会社の良いとこどりが垣間見られた。工場のレイアウト、生産性、また万一の場合、すぐに工程見直しができる工夫が見受けられた。各作業の生産性の改善を踏まえた取組み体制も行き届いており、日々の改善に対する意識改革は

かなり勉強となった。モデル用バスも準備されており、図面等の2次元だけではなく現物でユーザー



にアピールできることは大きな資産ではないかと感じた。転角測定も実際見せていただき、かなり迫力のある見学となった。素晴らしい管理された現場を見せていただき参加した会員たちも自社の生産に対し参考となった一日となった。



## 中国支部

### ■秋季研修会を実施

中国支部(支部長・上野孝弘・フェニックス工業(株)社長)では、9月25日、9社15名が参加し、(株)モリタ三田工場(兵庫県三田市)で工場見学を実施した。

工場見学では、消防車製造ラインの見学と設備についての説明を聞き、一つひとつオーダーメイドで仕様が違うものを製造されていることに参加者は大変強い関心を寄せていた。

また、高い品質管理や検査を実施されており、それらの取組みは会員企業様にも今後



品質向上に向けて取り組むための勉強になった。

今後も中国支部として工場見学を通して会員様の有益な情報交換の場として取り組んでいきたいと考える。

## 四国支部

### ■研修会を実施

四国支部(支部長・北村和則・兼松エンジニアリング(株)代表取締役専務)では、11月21日、9社16名が参加し、兼松エ



兼松エンジニアリング(株)工場

ンジニアリング(株)(高知県高知市)で研修会を実施し、強力吸引作業車や高圧洗浄車の生産工程を見学した。

この工場では1台ずつオーダーメイドによるものづくりで、材質・取付寸法に至るまで都度、設計・製造を行っている。工場は、海拔60mに位置し南海トラフ地震への対策も兼ねており、インフラ整備や災害復旧にも使用される製品の供給責任を果たすべく高知から提供している。

研修会ではCNに関する勉強会も合わせて実施した。



ボールの吸引デモンストレーション

## 道路運送車両の保安基準等の一部改正 (第195回WP.29関係)

国土交通省

- ・電気式ハイブリッド自動車及び複数の駆動用電動機を備えた電気自動車のシステム出力の決定に係る協定期則(第177号)の採択、制動に関するカテゴリーM、N、Oの車両の認可に関する統一規定(第13号)等の改訂の採択に伴う改正。
- ・自動車の型式指定に係る不正行為の防止に向けた検討会の取りまとめを踏まえ、基準の適用時期を統合する見直しに伴う道路運送車両の保安基準等所要の改正。
- ・その他所要の改正。

## 「装置型式指定実施要領について(依命通達)」 等の一部改正について

国土交通省

- ・道路運送車両の保安基準等の一部改正(第195回WP.29関係)に伴う装置型式指定規則等の改正。
- ・令和8年1月1日をもって「完成検査終了証の取扱いについて」(昭和47年10月16日付自車第770号)の廃止。

## 審査事務規程の一部改正について(第64次改正)

自動車技術総合機構

- ・道路運送車両の保安基準及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う改正。
- ・UN R175に規定された要件に適合するペダル踏み間違い時加速抑制装置を備えなければならないことを規定。
- ・自動車の運転者席に視界内表示投影装置を備える場合には、運転に必要な視野を確保し、かつ、運転操作を妨げないものとして、UN R176に規定された要件に適合しなければならないことを規定。
- ・その他所要の改正。

## 「審査事務規程2-7(2)に規定する 「別途定める方法」について」について 自動車技術総合機構

- ・電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるもの(以下、「電磁的記録」という。))により作成されたファイルとし、「独立行政法人自動車技術総合機構交通安全環境研究所自動車認証審査部ネット」(以下「審査部ネット」という。)より、審査部ネットの申請アプリケーションを使用した方法、郵送、持参又はE-mailのいずれかの方法により、自動車機構本部検査部検査課へ提出。

## 審査事務規程の一部改正について(第65次改正)

自動車技術総合機構

- ・道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う「審査事務規程」等の一部改正。
- ・試験規程(TRIAS)の新規追加5項目、細目告示に既に採用されている協定期則の改訂に伴う一部改正13項目。
- ・中国の試験機関(CATARC)の追加。

## 審査事務規程の一部改正について(第66次改正)

自動車技術総合機構

- ・道路運送車両の保安基準及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示等の一部改正に伴う改正。
- ・走行距離計の精度要件が規定されたことに伴い、走行距離計の精度に関する審査方法等を規定。
- ・国土交通省において、保安基準の適用時期の見直し(適用時期の統合)が行われたことに伴う、適用関係の整理に係る規定の改正。
- ・その他所要の改正。

## 軽自動車検査協会検査事務規程の 一部改正について

軽自動車検査協会

- ・自動車型式認証実施要領別添1第18及び共通構造部(多仕様自動車)型式指定実施要領第17に基づき、「自動車の検査時に必要な情報」の内容及び受領方法等所要の改正。
- ・審査事務規程第64次改正に伴い規定等所要の改正。
- ・その他所要の改正。



## 軽自動車検査協会検査事務規程2-28 「自動車の検査時に必要な情報及び 受領方法」(2)に規定する「軽自動車検査協会 が別途定める方法」について

### 軽自動車検査協会

- ・「独立行政法人自動車技術総合機構交通安全環境研究所自動車認証審査部ネット」の申請アプリケーションを使用した方法、または、郵送、持参、若しくは、E-mailのいずれかの方法。

(E-mail を利用する場合は、事前に検査部検査企画課に連絡が必要。)

## 2025年9月「価格交渉促進月間」の実施について

### 経済産業省・中小企業庁

物価高が継続する中、物価上昇に負けない大幅な賃上げを成し遂げていくため、原資の確保が不可欠であり、より一層の価格転嫁、取引適正化が重要。米国の関税措置による影響等が不透明な中であっても、30年間続いた停滞から脱却し、継続的な賃上げが実現する成長型の経済に転換するためには、価格転嫁、取引適正化の取組みを継続していく必要がある。

これまで、官民を挙げて推進してきたサプライチェーン全体での取引適正化の取組を継続していけるよう、引き続き十分な配慮をお願いする。

9月は、2025年度下期の価格改定時期を迎える企業も多く、価格交渉・価格転嫁にとって大事な時期となるので御協力をお願いする。

詳しくは、以下URL参照

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/follow-up/>



## 変革の時代における競争政策セミナー(第3回)

### 経済産業省

DX(デジタルトランスフォーメーション)やGX(グリーントランスフォーメーション)、労働市場改革など、さまざまな変革の時代を迎え、企業行動、また、それを取り巻く競争環境も大きく変化している。行政においては、こうした変化を踏まえた政策の企画立案や、厳正な法執行が一層重要となっている。他方で、企業の経営層や経営企画部はもちろん、法務部であっても、法令遵守のみならず、新しい事業・価値の創造を支援する役割を期待されるようになっている。

こうした中で、経済産業省は、公正取引委員会と共同で、第3回「変革の時代における競争政策セミナー」を開催する。競争政策の最新動向として、①企業結合審査の概要及び事例(令和6年度)について、②公正取引委員会の事前相談業務の概要及び独占禁止法に関する相談事例集(令和6年度)について、③フリーランス・事業者間取引適正化等法の概要及び勧告事例について、④中小受託取引適正化法と運用基準等の整備を含めた今後の動きについて、公正取引委員会の担当行政官が解説する

当日の資料を含め詳しくは以下URL参照

[https://www.meti.go.jp/policy/kyoso\\_seisaku/kyoso\\_seminar03.html](https://www.meti.go.jp/policy/kyoso_seisaku/kyoso_seminar03.html)



最近の法規関係情報の詳細については  
JABIAホームページ新着情報の法規情報  
をご覧ください。

<https://www.jabia.or.jp/news/regulations/>



## 高橋幸也氏、黄綬褒章受章

高橋幸也氏(トヨタ車体㈱)は自動車ボデー職種における復元技能に優れ、不具合の検出力と修正技能に卓越している。鉄板の亀裂、皺、割れ、歪等の高度な修正ができる技能を有し、それらの技能を使いこなし、多くの工程・設備改善をあげた。近年は、より幅広い視野に立った工程/設備改善・デジタル化にも着手している。

伝承の面でも活躍していることが評価され黄綬褒章を受章された。心よりお慶び申し上げます。



## 会員情報

■入 会	正会員	マルマテクニカ(株)
		代表取締役 森木 英光 〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台6-2-1 TEL. 042-751-3806 【主要製品】 工作車 【所属部会】 特装部会
		協和自工(株)
		代表取締役 熊谷 建之 〒919-0302 福井県福井市上細江町24-2-1 TEL. 0776-41-3883 【主要製品】 カーゴ製作、二次架装 【所属部会】 トラック部会
		房総車体(有)
		代表取締役 佐藤 亮 〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港119-2 TEL. 043-241-1856 【主要製品】 キャブ架装 【所属部会】 トラック部会
	準会員	安全自動車(株)
		代表取締役社長 中谷 宗平 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25 TEL. 03-5441-3411 【主要製品】 車体整備関連工具他 【所属部会】 資材部会
		(株)ノルメカエイシア
		代表取締役社長 岸谷 隆雄 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地3-1-13 TEL. 048-967-5372 【主要製品】 RV用品 【所属部会】 資材部会
■代表者変更	正会員	西南自動車工業(株) 代表取締役 大砂 弘樹
		園井ボデー工業(株) 代表取締役社長 本國 俊明
	準会員	(株)小田原機器 代表取締役社長 津川 直樹
■退 会	準会員	日本ピストンリング(株)

環境基準適合ラベルは、架装物解体作業の容易化、再生資源の適正な処理を促進する  
“環境にやさしい車体”であることを証明する車体工業会で制定したラベルです。



環境基準適合ラベル  
ホワイトラベル

環境に配慮した  
3つの要件

適合  
要件

- 3R(リデュース・リユース・リサイクル)  
判断基準ガイドラインの作成・活用
- 製造者名、樹脂部品材料名の表示
- 解体マニュアルの作成・公開



環境基準適合ラベル  
ゴールドラベル

ホワイトラベルに  
さらに3つの要件を追加

追加  
要件

- + 車体製品部材のリサイクル可能率95%以上
- + 車体工業会における  
「環境負荷物質自主取組み基準」  
を満たしている
- + ISO14001やエコアクション21など  
第三者機関による環境認証取得工場生産

ご存知ですか、JABIAラベル。  
環境にやさしい動くクルマに付いています。  
環境基準適合ラベル

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

12  
SDGs  
目標

私たちは持続可能な  
開発目標(SDGs)を  
支援しています。



環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」へ登録され掲載されています。[https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/a04\\_48.html](https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/a04_48.html)

# 特装車 ダンプ編 メンテナンスニュース

No. 60 2025・9



## ダンプ車の定期自主点検で トラブルを未然に防止!!



### 日々ダメージを受けている駆動部・可動部・油圧装置・作動油

「ダンプ車は毎日の積載物（土砂等）運搬・荷降ろし作業にて高い負荷が掛っております」

- ・駆動装置・可動部・作動油等は日々ダメージを受け気付かないうちに部品の摩耗・カジリ・焼付きや作動油の劣化による重大な故障の原因となる可能性があります。
- ・ダンプ車を快適に使用するためには、定期自主点検で装置の状態を把握し、定期的に作動油・油圧ホース等の消耗部品交換および各部（セレクトコントロール関係）の調整が必要です。

※過積載は道路交通法により禁止されています。

過積載はダンプ装置だけではなく、車両にも無理な荷重が掛り、重大な故障や事故の原因となります。

■ダンプ車を安全かつ快適に使用するために、定期自主点検に加え「メーカー推奨点検」を実施しましょう。

### 《日常点検・定期点検整備・消耗部品交換を怠ると大変危険です》

★劣化した作動油を使い続けると、油圧装置（油圧ポンプ・油圧シリンダ等）の油漏れ・カジリ・焼付き・破損等の原因となります。

★給脂「グリスアップ」をしない状態で使い続けると駆動装置・可動部からの異音や摩耗・カジリ・錆び・固着等により破損の原因となります。

★各部（可動部・油圧ホース・セレクトコントロール部・ヒンジフックストッパー部・開閉装置等）のガタ・緩み・損傷等の点検を怠ると作動不良や破損の原因となります。

### こんな事になる!

油圧ポンプ摩耗



【正常な状態】

高回転、過荷重  
で使い続けると



【ポンプ内面にキズ】

クロスヘッド摩耗



【正常な状態】

点検、給脂不足  
で使い続けると



【固着・カジリ・摺動不良】

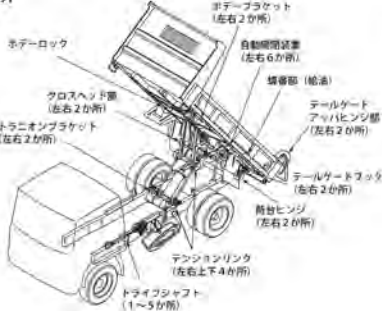
重要

### 毎日を安全・快適に使用して頂くためのチェック!

重要

- 1日のお仕事の前には必ず作業前に「始業点検」をおこなってください。
- 毎週1回またはダンプ回数100回と洗車後は必ず各部の給脂（グリスアップ）をおこなってください。
- アスファルト等、高温の積載物を運搬する車両は、熱によるグリス変質の恐れがあるため、毎週1回又は都度グリスアップしてください。
- 作動油は1年またはダンプ回数2000回で交換ねがいます。（作動油汚れ・不足していないか確認ねがいます）
- その他、各部の油漏れ・異音・損傷・ガタ・緩みが無い点検ねがいます。

#### ●給脂箇所



#### ●荷台上昇時の保守点検



特装車両の安全・安心は純正部品で機械も健康



一般社団法人 日本自動車車体工業会 特装部会 サービス委員会





才谷 和彦 代表取締役



### DATA

- 本社 〒702-8002  
岡山県岡山市中区桑野715-16  
TEL 086-277-5528  
FAX 086-237-7172  
URL <https://towa-jiko.jp/>
- 資本金 700万円
- 従業員 15名
- 事業所規模  
敷地：2,490㎡ 事務所・工場：900㎡
- 車体工業会加入  
2022年7月(トラック部会)



# トーフ自工



## (株)トーフ・自工

### 創意工夫を重ねて、挑み続ける。 荷台製作のスペシャリスト。

「使いやすく、壊れにくい」運搬現場の課題に応えるボデーづくりを通じて、様々な産業を支えてきた(株)トーフ・自工。2025年には「HARDOX® in my body」の認証を取得した軽量脱着コンテナ「HIMBシリーズ」をリリース。ものづくりへのこだわりを貫き、挑戦を続けていく。

車体工業会 森田 敦次

### ● 特徴・沿革

(株)トーフ・自工の始まりは、1967年に創業者・森勝行氏が勤めていた架装メーカーから独立し、トラックやトレーラの荷台設計・製作を主な事業とする「十和特殊車両」を設立したことにある。

1974年に法人化。ポールトレーラ設計・製作を得意とし、中国・四国地方の高速道路建設に重宝された。

スクラップ運搬車の製作も行い、ハイテン鋼やスウェーデン鋼等の特殊鋼板を使用した軽量かつ頑丈なボデー作りに、早くから取り組んでいる。1983年に現在の「トーフ・自工」に社名を変更した。

1991年に、脱着式コンテナの設計・製作を開始。様々な鋼材やハイテン鋼を用いた脱着式コンテナは好評を得て、ヒット商品となっている。

HARDOX®やABREX®等の特殊鋼板の溶接・加工で積み重ねてきた溶接技術には卓越したものがあり、同社の製品は基本的にフル溶接(全周溶接)されている。

フル溶接されたボデーやコンテナはとても頑丈で、18年前に製作したスウェーデン鋼のコンテナが現在も現役で活躍している。

ハードな環境で使用されたボデーの修理にも精通し、法的に新車製作が困難なポールトレーラのフルオーバーホールにも対応する等、タフな車体を必要とするユーザーから絶大な信頼を得ている。

鋼材についての知見も深く、ユーザーの要望設計・製作だけでなく、使用環境に適した部材について提案できることも強味となっている。

2023年9月に光洋グループ傘下となり、ファイバーレーザー溶接機や3Dスキャナー等の最新設備を導入。作業効率を高める投資を行い、職人の技術力に加えて、提案力を備えた企業へと進化を続けている。

2025年には、「HARDOX® in my body」の認証を受けた規格品「HIMBシリーズ」で脱着式コンテナの拡販を目指している。

## 製品

### ― 御社の業務の特徴についてお聞かせください。

産業廃棄物処理や林業等の現場で求められるタフな架装に応えるため、軽量かつ頑丈な耐摩耗鋼板を用いたトラックボデー及び脱着式コンテナの製作・修理を手がけています。

既存車両の修理では、最新の3Dスキャナーを使った精緻な計測で、車体の曲がりや歪みを測定しています。

材料提案から設計・製作までを一貫して行い、オーダーメイドのトラックやトレーラ、ダンプの製作にも対応可能です。

木材の他、重機の積載も考えて作られたフラットデッキコンテナ



スッキリしたデザインの長尺トレーラ

### ― どのような製品を手掛けているのでしょうか？

長年の実績により蓄積された技術力で、特に耐摩耗鋼の加工を強みとし、溶接の精度においては高い品質と信頼を誇っています。

耐摩耗鋼の溶接に使用するファイバーレーザー溶接機は、焦点を絞ることで熱の広がりを抑え、歪みが発生しづらく、溶接時間も短いのが特長です。弊社では部分溶接ではなく、より頑丈な全周溶接での加工を基本としています。

これらの技術を活かした脱着式コンテナは「HARDOX® in my body」の認証を受けた規格品「HIMBシリーズ」として、展示会に出展したところ、様々なユーザーから好評を得ることができました。



第7回 国際 建設・測量展に出展



要望に応じてカスタマイズも可能

### ― 御社の経営方針は？

頑丈なもののづくりに特化してきた会社ですが、今後は同業他社との交流を深め、業界全体の活性化を図りたいと思っています。鋼材の豊富な知識を持っているので、同じ材料を使う傾向がある業界に、様々な新しい鋼材を紹介することもできます。

業界を活性化し、強い日本を取り戻せる一助になりたいと思います。

## 人

### ― 御社の特徴は？

20代の外国人実習生を含め、熟練の70代まで幅広い年齢層が活躍しています。若い外国人実習生には専門用語や方言が伝わらないこともあるので、安全を最優先に作業をしてもらう環境作りを行っています。

また、5S活動を徹底して、現場のモノや情報を最適な状態に保つことを

常に心がけ、問題点を素早く見つけ出して解決するようにしています。

### ― 次世代の教育について

創意工夫を心がけ、ちょっとしたアイデアや気づきを大事にするように指導しています。教育の基本はOJTですが、月に2回の現場会議で改善点を共有するようにしています。





## カタログ商品は常時在庫が原則

シンコールマテリアル(株)

シンコーグループは、カーテン・カーペット・クロス・床材・レザー・テキスタイルの6つの分野で、シンコール本部(株)を中心に全16社のグループ会社で国内外約100拠点のネットワークを構成している。

始まりは1930年創業の個人商店だが、1943年に法人化、1953年に当時の社長の池田助二氏が“お客様の心を掴みたい”という意味で「信仰」の文字を使用した信仰レザー(株)へ改称した。ビニールレザーの販売で事業を急速に拡大し、独自のグループ経営体制を構築していく。1975年に「SINCOL®」ブランドを立ち上げ、同時に社名もカタカナへと変更した。

シンコーグループはネットワークを活かし、北海道から沖縄までをカバーしている。グループ各社が独立採算制を取ることで、地域に密着した迅速できめ細かいサービスを提供できることが強みとなっている。その中で、シンコールマテリアル(株)は、グループの基幹会社の一つとして、全国の販社に商品を滞りなく供給する重要な役割を担っている。

同社は、主に椅子、シート、ソファ等々の生地を国内外の協力工場とともに企画開発し、高級家具用のジャガード生地や抗ウイルス性能を持たせた生地、大手外食チェーン店用の油分に強い生地等、様々な商品を販売している。自動車用途ではシートや内装の張替用として「JABIA難燃素材登録」も取得している。

近年、廃業等が行われている国内繊維産業ではあるが、地元の尾州糸を使った製品や、イタリアやスペインの柄織物等、国内外で30社以上の協力工場と連携し、活性化の道を常に模索している。日本国内では均質で変化しない生地が求められるため、自然素材よりも化学繊維の商品が増えている傾向にあるという。



企画開発部 課長 デザイナー  
吉田 晴雄



常務執行役員  
瀬戸 健弘

### 総合カタログ

シンコールマテリアル(株)の生地販売に欠かすことができない総合

カタログは2種類有り、新製品・新色の追加や旧製品の廃番を行うため、3年毎にそれぞれ

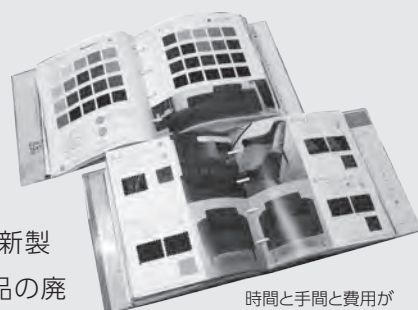
更新され、10~15種が入れ替えられている。ページを交換できるバインダー式では廃番商品の管理ができないため、全ページを刷新している。準備からカタログの完成までに1年半~2年が費やされ、新製品の開発には特に時間がかけられている。生地の風合いはパソコンの画面上で再現が難しく、織機から出てきた試作品がイメージとズレてしまうことも多い。また、椅子用の生地には十分な耐久性が必要なので、糸を高密度で織る必要があり、柄やデザインを表現するには工夫と高度な織機技術も欠かせない。

実際の椅子に張られた写真の掲載も重要で、選び抜かれたロケーションで洗練された撮影が行われている。

### きめ細かなサービス

総合カタログの掲載商品数は2冊で16,000を超える。カタログ掲載商品については「常時全品在庫を確保する」ことを原則とし、タイムリーなニーズに応える体制で、迅速な受注対応を実現している。

全ての生地は各センターに常備されており、カタログに貼付された小さな生地サンプルだけでなく、正式発注前にはB5サイズのサンプルを送付するなど、他社には追従できない、きめ細やかなサービスを提供し、顧客から高い信頼を得ている。



時間と手間と費用がかけられた総合カタログ



膨大な種類の生地の在庫が各センターに常備されている

シンコールマテリアル(株) 代表取締役社長 矢追 和彦  
創業以来、変わらない商いの精神で、時代が求める商品を。

【千音寺センター】

〒454-0977 名古屋市千川区千音寺4丁目2604番地  
Tel: 052-431-1161 <https://sincol-group.jp/>





私たちは資材部会を専門分野ごとにグループ分けを行い、3分科会13グループからなる「ビジネスネットワーク」を設置しております。この「ビジネスネットワーク」は会員の強い連携と結束を実現し、架装メーカーに対して、積極的な協力体制を目指しています。

「VOICE」では、部会会員会社の紹介や製品が開発されるまでのエピソード等を紹介していきます。

## アルミニウムで社会に貢献

鈴鹿金属(株)

1941年に創業し、アルミニウムの圧延・加工で、主に飯盒や水筒等の器物を製造していた(株)五十鈴アルミニウム製作所から、1952年にアルミ材料及び加工品の専門商社として分離・独立した鈴鹿金属(株)は、東京都台東区浅草橋で、多くの工場と協力しながら、様々なアルミ成型部品の製造・販売を行っている。

1988年には、静岡に初めての自社工場を開設、専用設計のプレス機を導入し、高い需要が見込まれるトラック用波板パネル(アルミコルゲートパネル)の製造を開始。架装メーカーやユーザーの意見を取り入れながら品質を向上させ、1992年には東北地域での架装メーカーへの拡販を目的に、岩手県奥州市に東北工場を開設した。

### アルミコルゲートパネル

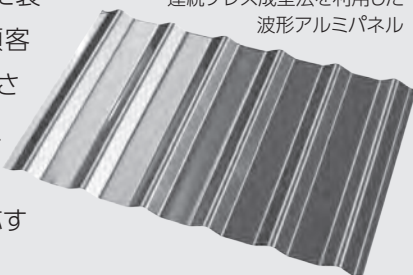
鈴鹿金属(株)が製造・販売するアルミコルゲートパネルは、アルミの薄板を波板プレス加工することで、軽量かつ耐荷重、耐食、意匠性に優れた製品である。自社工場では顧客のニーズに合わせた長さにかットすることができ、曲面加工も容易で、一品一様の設計に柔軟に対応することができる。

標準規格品は、常時在庫して顧客の注文に迅速に対応できる体制を整えている。

2008年のリーマンショックで、小規模架装メーカーの倒産や廃業が相次いだ影響を受け、2017年には静岡営業所及び工場を閉鎖し、製造拠点を東北工場に集約した。

その後も、トラック生産台数は減少傾向が続き、得意とするアルミコルゲートパネルの需要は厳しい状況にあるが、

連続プレス成型法を利用した  
波形アルミパネル



建物の外壁の意匠デザインに採用されたり、防災倉庫の外板材に採用された実績もあり、アルミニウムの軽さと強さを活かした新たな潜在ニーズの発掘が進められている。

### 多様なアルミニウム製品

鈴鹿金属(株)では、アルミパネルの他にもアルミ押出材、ダイキャスト、冷間・熱間鍛造品等、多くのアルミ製品を取り扱っており、自動車・オートバイの部品を中心に、日本全国の産業に幅広く採用されている。

東北工場では1994年から、アルミ丸棒切断機やアルミ加工箔断裁機を導入し、自動車部品メーカーだけでなく、国内にある様々なメーカーの工場にアルミニウム製品を供給している。

軽く頑丈で、加工性が良く、リサイクル性も高い材料として、アルミニウムは日用品から自動車、鉄道、医療、航空機分野まで使用され、基礎研究や製品開発において、もはや欠かせない素材である。

250社の販売先と130社の仕入先のネットワークを持つ鈴鹿金属(株)は、多方面にわたる業界のニーズをいち早くキャッチして、素材メーカーと協力工場とともに、多様なアルミニウム製品とサービスで社会へ貢献していく。



様々な装置に組み込まれる  
精工なアルミ押出品



鍛造、ダイキャスト、切削の  
複雑かつ高度な成形加工製品



電子機器のプリント基盤の加工に  
欠かせないエントリーシート  
【昭北ラミネート工業(株)製】



営業本部長  
吉永 真樹

代表取締役社長  
川合 弘一

### 鈴鹿金属(株) 代表取締役社長 川合 弘一

環境性に優れたアルミニウムの軽量・省力・リサイクル性を強みに社会に貢献できる企業を目指してまいります。

【本社】〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-3-9

Tel : 03-3851-3303

<https://suzuka-metal.jp>









最近よく耳にする「生成AI」、私たちの日々の暮らしにおいて急速にその存在感を高めている。今回はその概要を紹介する。

## Q1 生成AIとは？

生成AI(Generative AI)とは、人間のように新しいコンテンツを作り出す人工知能技術のこと。大量のデータを学習したモデルを使って、人間の指示に応じて新しいコンテンツを自動生成する。文章、画像、音声、動画など、さまざまな形式のコンテンツを作成可能。代表的な生成AIは下表参照。

種類	主なツール・サービス名	主な用途
テキスト生成	ChatGPT / Claude / Gemini / Llama	会話、文章作成、要約、翻訳、コード生成など
画像生成	DALL・E / Midjourney / Stable Diffusion	イラスト、写真風画像、デザイン、アート制作
音声生成	Voicemod/ ElevenLabs/ Google TTS	音声合成、ナレーション、キャラクターボイス
音楽生成	Suno / AIVA / Soundraw	作曲、BGM制作、歌声生成
動画生成	Runway ML / Pika Labs / Synthesia	プロモーション動画、アニメーション、教育コンテンツ
コード生成	GitHub Copilot / Tabnine/ CodeWhisperer	プログラミング支援、コード補完、デバッグ
マルチモーダル	GPT-4(Vision)/ Gemini / Claude 3	テキスト+画像+音声の統合処理、複雑な解析
3D生成	Spline / Kaedim/ Luma AI	3Dモデル作成、ゲーム・AR/VRコンテンツ制作
データ生成	ChatGPT Code Interpreter / Excel AI	グラフ作成、統計分析、データ可視化

## Q2 特徴は？ それぞれのツールの特徴を下表に示す。

種類	主な特徴
テキスト生成  ChatGPT, Claude, Gemini 会話、文章作成、要約、翻訳	自然言語処理 (NLP) 技術を活用し、人間のような文章を生成。大規模言語モデル (LLM) に基づいており、膨大なテキストデータで訓練されている。会話、要約、翻訳、創作、コード生成など多用途
画像生成  DALL・E, Midjourney, Stable Diffusion イラスト、写真風画像、デザイン、アート制作	テキストから画像を生成する「Text-to-Image」技術が主流。スタイル変換、画像補完、構図変更なども可能。ディープラーニングの拡散モデル (Diffusion Models) が多く使われる
音声・音楽生成  Suno, Voicemod, Google MusicEM 作曲、BGM制作、音声合成、歌声生成	音声合成 (Text-to-Speech) や作曲 (AI Composer) に対応。声の感情や話し方を調整可能。音楽生成はメロディ、コード進行、リズムなどをAIが学習
動画生成  Runway ML, Pika Labs, Synthesia プロモーション動画、アニメーション、教育コンテンツ	テキストや画像から動画を生成。動きのあるコンテンツを自動で作成可能。画像生成技術+時間軸の処理が必要なため、技術的に高度
コード生成  GitHub Copilot, Code Interpreter, Tabnine	プログラミング言語の構文と意味を理解し、コードを自動生成。IDEと連携してリアルタイム補完やバグ修正も可能。開発者の生産性向上に貢献
マルチモーダル  GPT-4 (Vision対応), Gemini, Claude 3	テキスト、画像、音声など複数の形式を同時に処理。例えば「画像を見て説明する」「音声を聞いて要約する」などが可能。より人間に近い理解力を持つ
3D生成	3Dモデルや空間デザインを自動生成。ゲーム、建築、AR/VRなどに活用。テキストから3Dオブジェクトを生成する技術も登場

## Q3 メリット・デメリットは？

メリット
<b>1. 生産性の向上</b> 短時間で文章・画像・コードなどを生成できるため、作業効率が大幅にアップ 例：議事録の自動要約、広告コピーの即時生成
<b>2. コスト削減</b> 外注せずにコンテンツ制作が可能になり、制作費や人件費を削減 例：中小企業が自社でSNS用画像をAIで作成
<b>3. 創造性の拡張</b> 人間では思いつかないアイデアや表現を提示してくれる 例：詩や物語の構成、アート作品のスタイル提案
<b>4. パーソナライズが可能</b> ユーザーの好みや履歴に応じて、最適なコンテンツを生成 例：学習者に合わせた教材作成、顧客ごとのメール文生成
<b>5. 24時間対応・即時応答</b> AIは休まず稼働できるため、カスタマーサポートや教育支援に最適 例：チャットボット(人間の代わりに自動で会話を行うソフトウェア)による問い合わせ対応
デメリット
<b>1. 誤情報の生成</b> AIは事実と異なる内容を生成することがある 例：存在しない法律や人物を紹介してしまう
<b>2. 著作権・知的財産の問題</b> 学習データに含まれる著作物を模倣する可能性があり、法的リスクがある 例：AIが生成した画像が既存作品に酷似している
<b>3. 過度な依存</b> AIに頼りすぎること、創造性や判断力が低下する可能性がある 人間の目による最終チェックが不可欠
<b>4. 人材の役割変化・雇用への影響</b> 一部の業務がAIに置き換わることで、職種の再定義やスキルの再教育が必要
<b>5. セキュリティ・プライバシーの懸念</b> 入力した情報がAIの学習に使われる可能性がある(特にクラウド型AI) 例：機密情報AIに入力し、外部に漏洩

## Q4 料金は？

利用規模によってピンキリ。(無料～数千円/月、数十万～数百万円/月)

事務局ではMicrosoft365契約によりCopilotを無料で使用中。WebベースのAIチャット、ファイル要約、翻訳、構成案作成等の機能が活用可能。

<無料お試しツール紹介>

ChatGPT Free(OpenAI)、Claude Free(Anthropic)、Gemini Free(Google)、Notion AI、Catchy

## Q5 今後は？

自動車業界においては、設計から製造、販売、アフターサービスに至るまで、広範囲にわたって活用、進化している。生産性向上、コスト削減のためのツールとして大いに活用できる可能性があり、デメリットも考慮しながら、上手に活用したい技術であることは間違いない



# 働くクルマたち



## 第51回：路面性状測定車

社会に欠かすことができない車体工業会会員が製造している多種多様な「働くクルマたち」について、毎回車種を選定し、その特徴等、日頃は目にしないところを含めて紹介していく。

第51回目は路面性状測定車について、特種部会の(株)オートワークス京都、(株)トノックスから紹介する。

### 1. 路面性状測定車とは

道路の表面状態を効率的かつ高精度に測定するための特殊な車両。主に道路管理者(国・自治体・高速道路会社など)が、舗装の劣化状況を把握し、補修や更新の計画を立てるために使用するクルマ。

### 2. 路面性状測定車の歴史

#### ■1980年代：開発の始まり

- 1982年：旧通産省の補助業務として初代の路面性状測定車が開発される
- 1984年：東京道路エンジニア(株)(現中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株))「路面性状測定車」が登場し、高速道路の保安全管理に活用され始める
- 1989年：旧建設省の技術評価認定を受け、Ver.2へ進化

#### ■1990～2000年代：技術の進化と普及

- 1996年～2006年：Ver.3が登場。CCDセンサカメラやレーザー変位計などの非接触型計測技術が導入され、IRI※1計測が可能になる。Ver.3より計測速度が100km/hとなる
- 2003年～：Ver.4ではGPS/IMU(慣性計測装置)による位置情報を活用し縦横断計測が可能になる。また、Ver.4より「ロードタイガー」の名称となる
- 2010年～：Ver.5ではさらに高精度・高密度の計測が可能となる。また、ひび割れ撮影についてはVer.4までのフィルムカメラから、デジタルカメラに更新され撮影精度が向上される

※1：International Roughness Indexの略、道路の平坦性を評価するための国際的な指標

#### ■2011年以降：災害と技術革新

東日本大震災(2011年)や笹子トンネル事故(2012年)を契機に、インフラ点検の重要性が再認識される。(株)トノックスが技術を継承し、小型化・高精度化を進め、地方自治体でも導入可能な仕様へと改良

#### ■2020年代：AI・クラウド連携へ

AIによるひび割れ自動判定、クラウドプラットフォームとの連携など、デジタル技術との融合が進行。2024年には新型計測装置が発表され、より細密な診断が可能となる



【初代】

写真提供：(株)オートワークス京都

### 3. 路面性状測定車の特徴

#### 主な役割と技術

①路面の平坦性(ラフネス)測定	IRI (国際ラフネス指数) などを用いて、走行時の快適性や安全性を評価
②ひび割れ・わだち掘れの検出	高精度カメラやレーザーセンサで、路面の損傷を画像解析
③摩耗・滑り抵抗の測定	雨天時のスリップリスクなどを評価するための重要な指標
④位置情報の取得	GPSやIMU(慣性計測装置)を使って、位置情報と車体の動きを補正し、測定データに正確な位置情報を付加

## 4. 路面性状測定車の種類

### ① 高速走行型測定車(例：ロードタイガー)

特 徴	時速120kmで走行しながら、ひび割れ・わだち掘れ・平坦性などを高精度に測定
搭 載 機 器	3Dステレオカメラ、青色LED照明、GPS/IMU、レーザー変位計
用 途	高速道路の広域調査に最適。昼夜問わず測定可能
メ リ ッ ト	交通規制不要、測定効率が高い



ロードタイガーVer.7  
(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株))  
(株)オートワークス京都製造

### ② 一般道・高速道測定車

特 徴	停止から高速で走行(0~120km)、小型で運転しやすく、普通免許で運用可
搭 載 機 器	レーザープロファイラカメラ、レーザーセンサ、簡易GPS
用 途	市町村道や生活道路の点検
メ リ ッ ト	舗装、道路会社導入、運用が容易、交通規制不要

### ③ 多機能型測定車(統合型)

特 徴	路面性状だけでなく、沿道画像や標識、レーンマークの状態も同時に記録
搭 載 機 器	複数カメラ、LiDAR※1、AI解析ソフト
用 途	インフラ全体の維持管理に活用
メ リ ッ ト	データの統合解析が可能



一般道・高速道測定車  
(株)トノックス製造

### ④ FWD※2測定車(路面表面のたわみ測定車 高速道路対応)

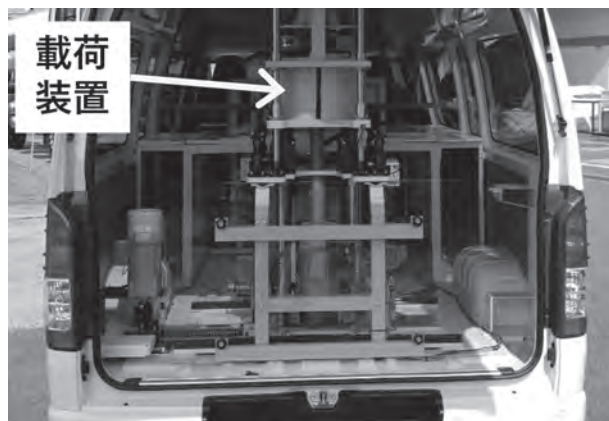
特 徴	載荷板が左右に移動し、車線からはみ出さずIWP※3、OWP※4の測定が可能計測装置、ソフト、車両は国産のため保守が容易、普通免許で運用可
用 途	舗装構造の健全度を非破壊で評価
メ リ ッ ト	装置は油圧未使用で、運用が容易で環境にやさしい

※1 レーザー光による距離測定装置

※2 重り(質量)を一定の高さから落下させて地面に衝撃を与え、その際に生じる路面のたわみ(変形量)を複数のセンサで測定し、たわみの分布から、舗装の下にある構造層(表層、基層、路盤、路床等)の剛性や支持力を推定する装置

※3 舗装構造の評価で試験結果から得られる初期たわみ量や応力分布を基に設定される初期状態の評価点

※4 補修や再舗装後に目指すべき性能状態を示す評価点。IWPと比較し、補修の効果や必要性を判断



FWD測定車(株)トノックス製造)

# Member's Essay COFFEE BREAK

## 釣りは海で！ ダイナミックな船釣りに夢中です

（株）サニックス仙台 営業部 かいぬま よしゆき 貝沼 美行

私の趣味は、壮大な海へと船を出す「船釣り」です。陸っぱりでは味わえないダイナミックさ、そして「大物を釣る!」というロマンが、私をこの趣味の虜にしています。

船釣りの一番の魅力は、そのスケールの大きさです。沖に出ると、周りには水平線しか見えません。潮風を浴びながら、船長が教えてくれる特別なポイントへ向かう時間は、まるで冒険の始まり。日常のストレスや悩みは、広い海の中に溶けて消えていきます。

船釣りの醍醐味は、やはり魚との真剣勝負です。

狙う魚の種類によって、ルアーを工夫し、誘い方を考える。この試行錯誤が楽しいんです。魚探に反応が出たときのドキドキ感はたまりません。そして、急に竿がグイッと引き込まれる瞬間！全身に電気が走るような、強烈なアタリです。

船の上で、このヒラメと力比べをしているときは、もう夢中でした。重くて、強く

て、なかなか上がってこない。でも、必死でリールを巻き上げ、ついに水面に出てきたときの感動と、この魚体を抱えたときのズシリとした重みと達成感、何度経験しても最高です。「やってやったぞ!」と思わず声が出てしまうほどの喜びです。この一枚は、私にとって最高の宝物です。

船釣りで釣れる魚は、種類も豊富です。マダイ、ブリ、サワラ、根魚など、季節によってターゲットが変わるので飽きる



先日、ついにこんな大物(ヒラメ98cm)を釣り上げることができました!

ことがありません。四季折々の海を楽しみ、旬の魚を狙えるのが魅力です。

そして、苦勞して釣り上げた魚は、味が格別です。鮮度が抜群なので、刺身で食べると、スーパーでは買えない最高の美味しさ。家族や友人に振る舞うとき、「この魚は私が釣ったんだよ」と言って、みんなが「美味しい!」と喜んでくれる瞬間も、私にとって大きな喜びです。



もちろん、自然相手なので、毎回大漁とはいきません。釣れない日もあります。でも、それもまた海からの「勉強」だと思って受け入れています。釣れない日があるからこそ、大物が釣れたときの喜びが何倍にもなるんです。

これからも、安全に気をつけながら、この大自然の海で、一生忘れられないような思い出の魚を追求め続けていきたいと思っています。私にとって船釣りは、日々の活力を生み出す、最高の趣味です!

## 喜怒哀楽を共にした 仲間との出会い

ジェイ・バス(株) 特装・サービス部 かす やすむ 加須屋 進

会社が設立されてから11年が経過した頃にジェイ・バスアスリートクラブが発足し、今年で10年目を迎えました。私は発足当時からクラブ代表を務めさせていただいています。現在、男女含めて24名在籍しており、主な競技種目はマラソンと自転車です。会社名でエントリーできる大会は、会社より参加費用の支援をいただいています。会社が協賛



クラブ仲間と集合写真



している大会は特に力が入ります。

地元小松市の「KOMATSU全日本鉄人レース」は、クラブ発足前の2012年から参加しており、チームリレーの部では、2017年と2018年は3位入賞、その後コロナ禍で大会が中止になったり、メンバーが揃わず不参加が続いてしまいましたが、2023年にはアスリートクラブ悲願の優勝を果たすことができました。昨年と今年も参加しましたが、大会のレベルが年々高くなっており、上位に食い込むことはできませんでした。

金沢市主催の「利家とまつ金沢城リレーマラソン」では、パフォーマンス賞を獲得、順位では3位入賞もありました。自転車競技では、「温泉ライダーin加賀温泉郷」の4時間エンデュロにチームで参加し、企業対抗の部で、2018年優勝、



チーム戦バイク担当

2019年は連覇できず2位入賞、2025年は惜しまれつつ最後になってしまった大会ですが、3位に入賞できました。最大4人1組のチーム構成の中で、駆け引きが重要となり、如何にタイムロスを少なく効率よく交代しながら4時間競い続けられるかが勝負の鍵となります。この3戦は私自身もメンバーとして参加し、3戦共に表彰台に上れたことが非常に嬉しかったです。

最後に、このクラブを通じて、仲間と共に汗を流し、嬉しい時、悔しい時、時には涙も流し、同じ感動を分かち合えたことに、感謝がありません。私は、来年3月



鉄人の部完走

で定年を迎え、代表は後輩にバトンを渡します。このクラブが今以上に発展することを願いつつ、私も可能な限り競技人生を続けて行きたいと思います。

## 野球人口が減少しています…。

(株)NICHIGO 技術総括部 伊藤 雅人

札幌ローカルテレビ局のスポーツニュースでは、北海道日本ハムファイターズのプレーオフとロサンゼルス・ドジャースのワールドシリーズ連覇の話題で盛り上がりをも

せています(…と、この後者の話題に触れると、この原稿がメ切間際に泡食って書いているのだと一部の方にはバレてしまいますが…)。

それはさて置き、近ごろ野球を“観る”人については、ファイターズが北海道に拠点を移して以降関心を持つ方が増えてきたように感じますが、“する”人は年々少なくなっている印象で、弊社の野球部にもその影響が少なからず及んでいると感じます。新入社員当時に先輩から入部を強制…もとい、勧誘していただき、以来活動を続けていますが、入部当時は20人ほどいた部員も今や10人ほどに減少。若い方の趣味が多様化したことも大きいと思いますが、野球を学生時代に部活動で経験してきた方が減少している印象です。主に平日の朝5時頃から試合が開始されるという、日勤サラリーマンには過酷な朝野球なので、毎々、試合当日の朝に9人揃うかどうかで肝を冷やします。

今年も弊社の野球部は、5月から8月にかけて市内の朝野球リーグ戦に参戦しました。今年は打撃陣が好調で例年になく勝ち星を重ねることができました(掲載写真①、②)が、その反面、固定の投手が不在であったため、打撃陣が奮起しても相手の猛攻で火だるまになることもしばしば…(主に私のことです。チームの皆さんごめんなさい…)。従って、今後の課題は柱となる投手を発掘し、浮き沈みの少ないチームづくりをすることではないかと考えています。

ちなみに、個人的な今後の目標は、成績よりも安全第一でケガなくシーズンを終えることです。



某SNSに掲載された写真(奇跡的に勝ち投手になった試合)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9
大古	2	0	2	0	1	0			
NICHIGO	0	0	1	2	4	X			

写真① ある日の試合結果

チーム	1	2	3	4	5	6	7
NICHIGO	0	5	1	7			
大古	2	0					

写真② ある日の試合結果

# いどばた会議

## 私のSDGs Part15

### ZEH住宅で環境にやさしい暮らし

TAKANO WORK'S(株)

おおにし たかし  
大西 孝史

2019年に建て替えた住居がZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)住宅であるため、太陽光発電によって昼間の冷暖房を賄い夜間はエアコンを必要としない省エネ生活が送れています。

ZEHを実感したことによって電気使用料への関心が高まりました。



### 地域の学生のためのベルマーク

(株)東海特装車

とば みさと  
鳥羽 美慧

会社でベルマークを集めているので、なるべくベルマークがついている商品を購入しています。

集めたベルマークは、地域の学校へ寄付をするので、地域の子供たちの学校生活が豊かになると嬉しいです。



### 牛乳パックの再利用★

(株)東海特装車

のむら あやか  
野村 采加

家で揚げ物を作る時、油を切る際にキッチンペーパーではなく牛乳パックを再利用しています。

使い終わった牛乳パックを開き、表面のパッケージを薄く剥がして使うと揚げ物の油を吸い取ってくれます。

裏面まで油が染みてくることのないのでおすすめです！





## 再生可能エネルギー導入

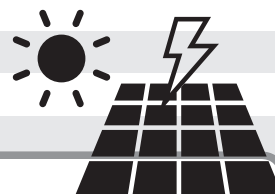
トヨタ自動車東日本(株)

こいずみ ただし  
小泉 正

会社の敷地を草刈りマシンが活躍しています！  
機械や人の手を使わずwinwinでお腹いっぱいまで食べ排泄処理した物もまた肥料となるので自然の草がまたいっぱい育ちます！◎



## オール電化



日産車体(株)

かわさき ゆうすけ  
川崎 裕介

我が家はオール電化、太陽光エネルギー、そしてEV車2台のオール電気で日々生活しています。

今後はV2H(Vehicle to Home)も視野に入れており、電気をムダなく効率的に日々の生活から使用し、脱炭素社会の実現に向けて微力ながら貢献できたらと思います。



## 古河工場赴任からのエコバッグ

(株)トランテックス

なかうち やすのぶ  
中内 康暢

2025年2月より石川県にある本社工場から茨城県の古河工場に赴任していますが、妻と別居のため、自らスーパーで買物する機会が急増しました。赴任当初は毎回5円のビニール袋を購入し、買い物していましたが、結局捨てる5円がもったいなく感じ、レジに並ぶ方々を見習い、今ではエコバッグで買物しています。

今更だと言われそうですが、これからも継続しようと思います。次はマイ買物カゴに挑戦です。



## オリジナル超強炭酸水

日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)

おかもと けいし  
岡本 圭史

ペットボトル飲料を購入する代わりに、強めの炭酸水を自宅で作って持参しています。

使い終わった炭酸ガスシリンダーは店舗で回収され、交換用として購入するシリンダーがリユース品である点にも好感を持っています。





トヨタ車体(株)  
開発統括部  
たけもと まい  
竹本 麻衣さん



我が社の



仕事を通じて、  
たくさんの方たち  
と繋がってます

完成されたモノを  
見る瞬間が一番  
楽しく、嬉しいです

阪和興業(株)  
アルミ・ステンレス部  
アルミ・ステンレス第一課  
たぐち なおゆき  
田口 尚幸さん



## Q1 どんなお仕事ですか？

技術部門を統括する部署で、組織変革に向けた企画立案と推進に取り組んでいます。トップ層と現場の双方の想いを理解し、企画を考え実行していくことを大切にしています。多くの部署と関わる中で、人脈を広げながら自分自身も成長できる仕事です。

## Q2 仕事で楽しいときは

企画提案やイベントなどをやり切った時の達成感や仕事を通じたたくさんの方たちと繋がったときです。

特に企画の主旨に沿った成果や参加者からの前向きな言葉や感謝の言葉をいただくと嬉しい気持ちになります。

## Q3 仕事でつらいこと

人との関わりが多いため、様々な意見を理解し、納得や共感を得るまで苦労することもあります。

しかし、粘り強くコミュニケーションを取りながら「相手の立場で考える」プロセスを繰り返すことで、私自身にはない考え方や発想の着眼点が増え、結果として成長に繋がっていると感じています。

## Q4 これまでの仕事の中で 印象に残っている出来事は？

従業員へのライブ配信による技術部門のトップ対談に企画したことです。トップとお話する機会は今まであまりなかったため緊張しましたが、直接会話をすることで職場に対する課題ややるべきことが明確になりました。その経験が今の仕事にも繋がり、一歩踏み出す機会になったと感じています！

## Q5 御社のPRをしてください！

当社は「HaCoB(ハコブ)を通じて世界に貢献」というビジョンを掲げ、商用車、ミニバン、SUVを通して、お客様へハコブ価値を提供しています。また、近年では間伐材を用いたプラスチック「TABWD(タブウッド)」や塗装時のCO2削減など、地球環境に配慮した技術開発にも力を入れています。お気軽にお問合せください！

## Q1 どんなお仕事ですか？

阪和興業(株)は、鋼材をメインに扱う商社です。鉄鋼部隊の中でアルミ・ステンレスをメインに扱う部署に所属し、アルミ・ステンレス製品の卸売をメインに従事しています。素材のご販売だけでなく、加工も請け負っています。

## Q2 仕事で楽しいときは

自分が卸した材料を使用してモノづくりが行われ、完成されたモノを見る瞬間が一番楽しく、嬉しいです。商社自体にモノづくりの技術があるわけではないので、技術の方々が問題ないと評価する材料を卸すことができ、「ありがとう」と言っていた際には非常に報われた気持ちになります。

## Q3 仕事でつらいこと

商社は材料の卸売りがメインのため、卸した先で品質不良が発生すると非常につらいです。不良を出さないことは勿論心がけておりますが、仮に発生してしまった際には、如何なる業務よりも最優先に対応することを心掛けています。

## Q4 これまでの仕事の中で 印象に残っている出来事は？

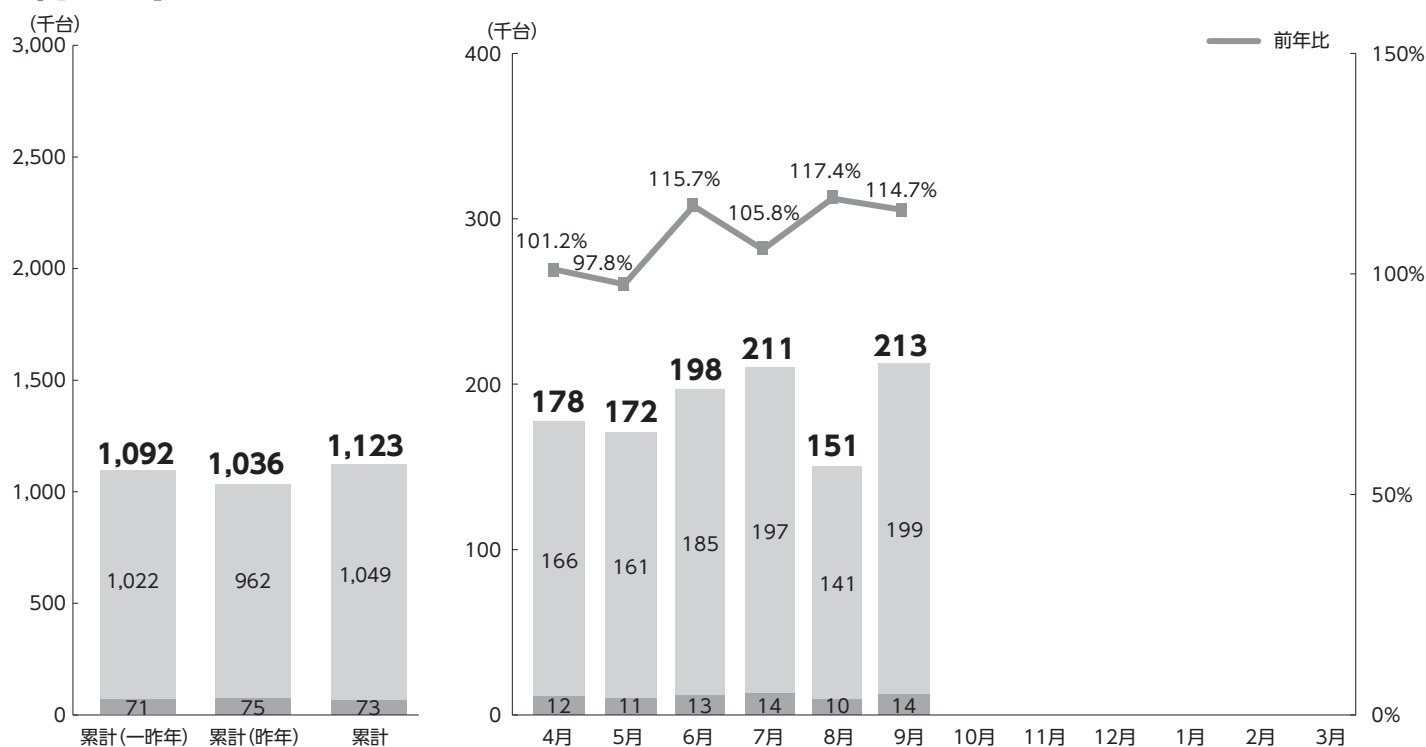
新入社員の時、指導員が遠方へ異動することになり、引き継いだお客様のもとへ足繁く通い、どんな些細なことにも即座に答えていた結果、「田口君なら安心して任せられる」と言っていたことが、一番印象に残っています。この時から、どのようなお客様に対しても些細なことでも対応を怠らない精神を持つようになりました。

## Q5 御社のPRをしてください！

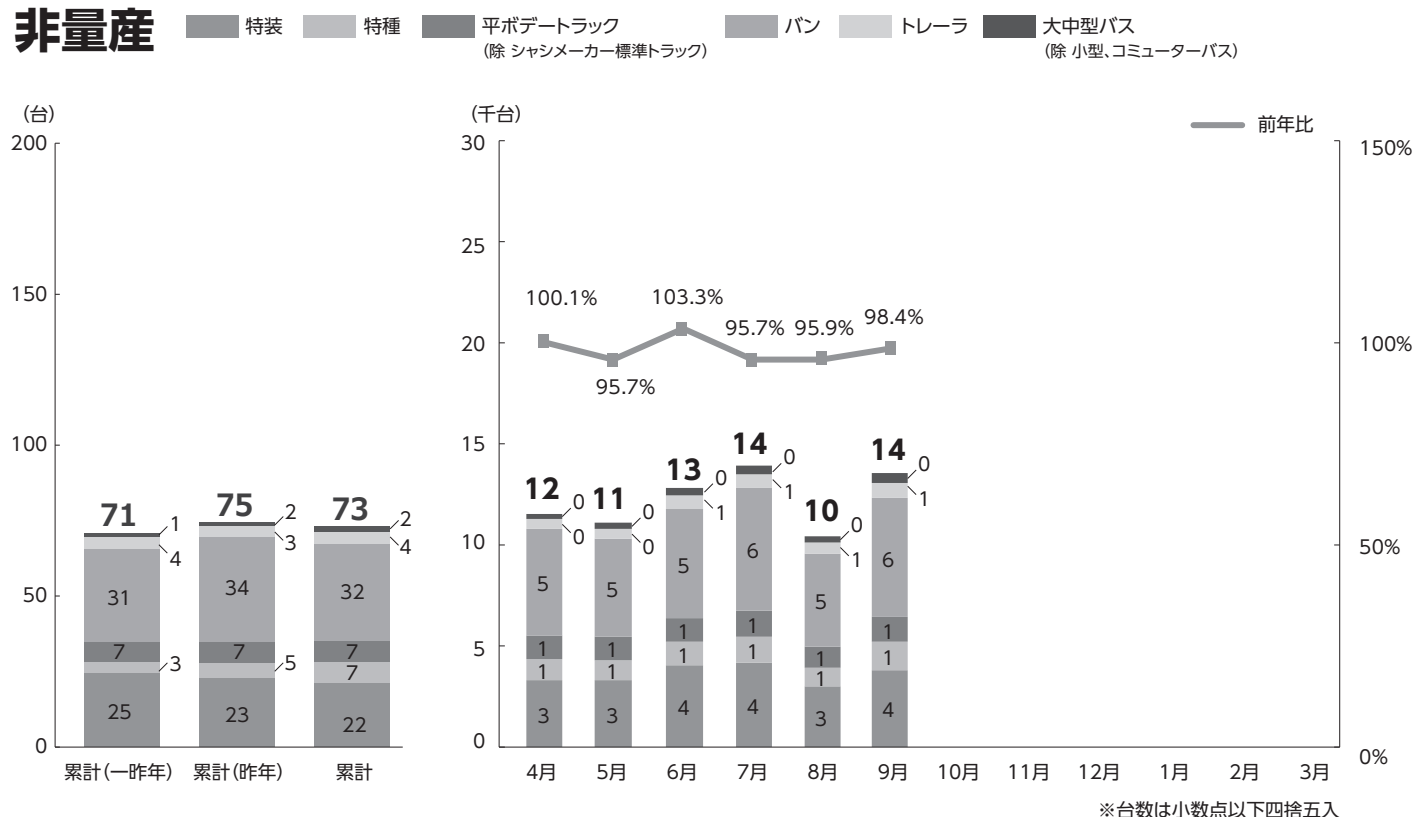
阪和興業(株)は鉄鋼、鉄鋼原料、各種金属、食品、エネルギー、生活資材、木材、機械等の国内販売及び輸出入を行う商社です。また独立系かつ一次商社であることを活かし、ユーザー様ごとに最適なお提案をさせていただきます。何か材料や加工でお困りの際には一言お声がけください。どのようなご相談でも構いません。

# 2025年度4月～9月 会員生産状況

## 総合計



## 非量産



### 車体工業会会員生産台数の公表について

部会毎の生産台数等詳細の情報は当会ホームページをご覧ください（一部会員限定）。

<https://www.jabia.or.jp/production/>





## 編集後記

2025年も残すところあとわずかとなりました。

本号では、巻頭言で資材部会創立60周年という節目を迎えた歴史と将来に向けた取組み、また秋季会員大会やジャパンモビリティショー出展など、業界の活性化に向けた活動を幅広くご紹介しました。

さらに、カーボンニュートラル対応やコンプライアンス優先経営、さらには生成AIの活用など、変化の時代に求められるテーマにも触れています。これらは、私たちが直面する課題と可能性を示すものであり、業界全体で知恵を出し合いながら進めていくことが重要です。

「働くクルマたち」では、東日本大震災や笹子トンネル事故の後、私たちの暮らしを支える「静かなヒーロー」として活躍している路面性状測定車を紹介しています。目に見えない道路の傷みを、センサとカメラで正確に診断し、復旧や安全対策の判断材料を提供してくれます。災害の爪痕が残る中、黙々と走り続けるその姿は、まさにインフラの守護者。「技術の力が、人々の安心を支えている」、「社会を支える車体工業会の役割」を改めて実感いただけると思います。

最後に、今後も皆様にとって役立つ情報やちょっと面白い話題をお届けできるよう頑張ります。ご意見・ご感想はぜひ事務局までお寄せください。寒さが厳しくなる季節、どうぞお体に気をつけて。

(小森)

表紙写真について

### 特種部会 (株)オートワークス京都製 「路面性状測定車」

本車両は、道路の表面状態を効率的かつ高精度に測定するための特殊な車両で、主に道路管理者(国・自治体・高速道路会社など)が、道路インフラの維持管理において重要な役割を担う車です。

走行しながら、路面の凹凸やひび割れ、摩耗状態などを高精度センサやカメラで計測し、道路の安全性や快適性を評価します。取得されたデータは、補修計画の立案や予防保全の判断材料として活用され、持続可能な道路管理の実現に貢献しています。



## お知らせ

### 技術発表会のご案内

- ◆日 時： 2026年3月19日(木) 14:30～17:00
- ◆場 所： 車体工業会会議室からWeb配信
- ◆内 容： 会員各社の新技術、新製品に関する発表
- ◆申込み： 別途ご案内申し上げます。

この会報「車体NEWS」は、主として法令改正等含めた自動車車体にかかわる情報をとりまとめ、春、夏、秋、冬の4回、季刊発行により関係方面の方々に毎回およそ1,800部を送付させていただいております。送付先は当工業会会員事業所他全国の大型車等の自動車販社、各都道府県のバス、トラック協会、バス、トラックの大手ユーザー、全国の経済産業局、運輸局、運輸支局、自動車技術総合機構、日本自動車車体整備協同組合連合会、軽自動車検査協会及び自動車関係団体となっております。

## 広告掲載会社

三輪精機株式会社……………表2  
イサム塗料株式会社……………P.38  
スリーエム ジャパン株式会社 ……表3  
損害保険ジャパン株式会社……………表4

# 車体NEWS

WINTER 2025 冬



2025年12月15日発行

発行所 一般社団法人 日本自動車車体工業会

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

TEL.03-3578-1681 FAX.03-3578-1684

発行人 小森 啓行



# 各種法令に対応した スチレンフリータイプのスプレーパテ

Non Styrene Spray Putty

## Point 1 優れた作業性

- ・スプレー型のため、広範囲のひずみ抜きが容易
- ・希釈しない場合はヘラ付け可能

製品情報はこちら



## Point 2 仕上がりを追及

- ・キメが細かく巣穴が出ない
- ・平滑に仕上がるため研磨が容易

## Point 3 用途に応じて選べる2種類の希釈剤

- ・厚付け性と常温乾燥性に優れた**厚付け希釈剤**
- ・セッティング不要ですぐに加熱が可能な**即加熱希釈剤**



厚付け希釈剤  
0.9L



即加熱希釈剤  
400ml



主剤  
3kg



**イサム塗料株式会社**

札幌・仙台・東京・名古屋・滋賀・大阪・広島・福岡



イサム塗料株式会社  
公式チャンネルはこちら



# 防ごう 大型車の車輪脱落事故



## おとさめ ための 点検整備

事前の正しい点検が大きな  
事故を未然に防ぐ唯一かつ  
最善の手段です。



## さびたナットは 清掃・交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、  
ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ。追加  
塗装などを取り除きます。



## いちにち一度は ゆるみの点検

運行前に特に脱落が多い  
左後輪を中心に、ボルト、ナットを  
目で見て手で触るなどして点検します。

# お

# と

# と

# な

# い



## トルクレンチで 適正締付

適正なトルクレンチによる  
規定トルクの締め付け、  
タイヤ交換後の増し締めの実施。



## ナット・ワッシャー 隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、  
ナットとワッシャーもすき間にエンジンオイル  
など指定の潤滑油を薄く塗布し、  
回転させて油をなじませてください。

©くまね工房



詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ  
[http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel\\_fall\\_off/](http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/)

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会 日本自動車工業会(いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDTトラック) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会



# トレーラのブレーキ利き不良に注意

オートマチック・スラック・アジャスタの点検整備のお願い

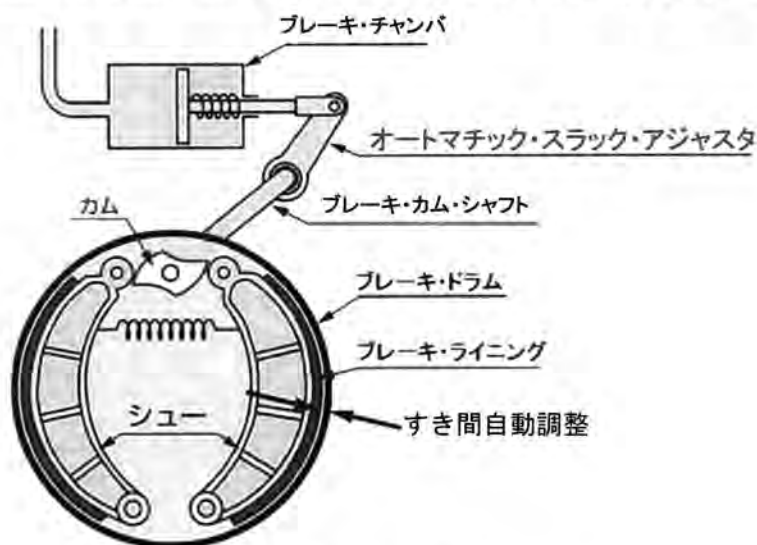
オートマチック・スラック・アジャスタの点検整備を怠ると



トレーラのブレーキ利き不良

## オートマチック・スラック・アジャスタとは

オートマチック・スラック・アジャスタは、2000年7月（中期ブレーキ規制）から装着された、ブレーキ・ライニングとドラムとの隙間を自動的に調整し、ブレーキの利き具合を最適化する装置です。



ブレーキ装置概要

## オートマチック・スラック・アジャスタに負担のかかる条件

中期ブレーキ規制以前、停車時におけるブレーキ操作は、トレーラ・ブレーキ・レバーで行う場合があります。中期ブレーキ規制以降、ブレーキ操作系の変更に伴い、停車時におけるブレーキ操作は、トラクタの駐車ブレーキ・レバーで行われる場合があります。この操作を多用される場合や登り降りの頻繁な走行等ではオートマチック・スラック・アジャスタやブレーキ・カム・シャフト等に負担がかかり、故障する場合がありますため『シビア・コンディション時の点検』が必要です。点検整備を行うことにより、これらの性能維持や故障時の早期発見が可能となります。

一般社団法人 日本自動車車体工業会 トレーラ部会

<https://www.jabia.or.jp/>



# トレーラ火災にご注意!

その火災  
整備不良かも!?

この画像の動画はこちらから



動画二次元コード

出典：国土交通省 YOUTUBE チャンネル  
(トレーラ火災の原因と防止について)



## トレーラの装置別不具合

制 動

ブレーキ・チャンバ、スプリング・チャンバ  
ダイヤフラムの劣化、スプリングの折損、  
ブレーキ・ホースや継ぎ手の劣化

リレー・エマージェンシ・バルブ

エアフィルターの目詰まり、パッキン類の劣化  
不純物や水分凍結によるリレー部目詰まり

オートマチック・スラック・アジャスタ、ブレーキシュー  
ゼロ点調整不良、リターンスプリングの劣化  
シューベアリング部の潤滑不良

走 行

車軸、ホイール、ハブ

ベアリング部の潤滑不良、  
アクスルナットの締付トルク不良

エア圧力低下  
ブレーキ引き摺り

ブレーキ戻り不良  
ブレーキ引き摺り

回転不良  
摩耗

発 火

適切な点検整備を行うことが車両火災の防止に有効です

アクセスはこちらから



トレーラ点検整備実施要領

<https://www.jabia.or.jp/safety/system/#section02>



一般  
社団法人

日本自動車車体工業会  
Japan Auto-Body Industries Association Inc.

トレーラ部会

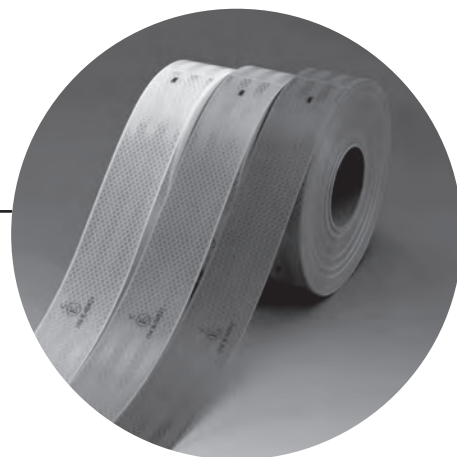
# 美しさと安全性の両立

Beauty & Safety スリーエムからの提案です。

夜間や薄暮に多発するトラックなど大型車両の事故。車両の視認性低下が原因のひとつとなっています。夜間の事故防止には再帰反射材による車両マーキング（線状再帰反射材、輪郭再帰反射材等）が不可欠です。その効果は様々な研究報告により明らかになっています。

わが国では「道路運送車両の保安基準」でその取付要件が規定されました。すでに欧米では多くの国々で取付要件が規定されており、義務化された国もあります。スリーエムではこの基準に適合した（※Eマーク付）3M™ダイヤモンドグレード™コンスピキュイティ反射シートを提供しています。

また、スリーエムでは従来より車体のボデーをPR媒体として活用するフリートマーキングシステムの概念を提案し、スコッチカル™フィルム、コントロールタック™ コンプライ™ グラフィックフィルム、プリントラップフィルム等の施工性に優れた製品を提供してきました。トラック輸送の有効性、重要性が今後さらに見直される傾向にあります。今こそ安全性とPR効果がキーワードの車両マーキングとフリートマーキングの採用を検討する時期です。



3M™ダイヤモンドグレード™  
コンスピキュイティ反射シート

3M™プリントラップフィルム IJ280

## 3M™ ダイヤモンドグレード™ コンスピキュイティ反射シート

入射光を光源方向にまっすぐ戻す、再帰反射効果を備えたプリズムレンズ型反射シートです。ヘッドライトの光などで明るく輝き、自車の存在を相手に強くアピールします。

### ■おもな特徴

1. 従来品に比べ、反射効果が大幅にアップしています。
2. 広角性にすぐれ、カーブ時の見やすさも十分に確保できます。
3. 取り扱いが簡単です。裏面の透明フィルムをはがすだけで、多くの車体に直接貼ることができます。
4. 耐久期間は約7年です。（当社ガイドライン通りに貼付された場合）。

## 事故減少に対するコンスピキュイティ反射シートの有効性に関わる研究報告

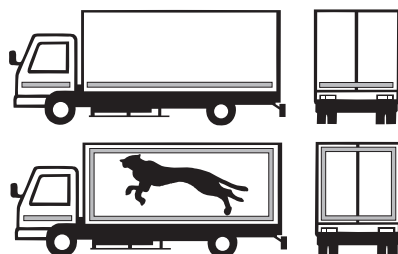
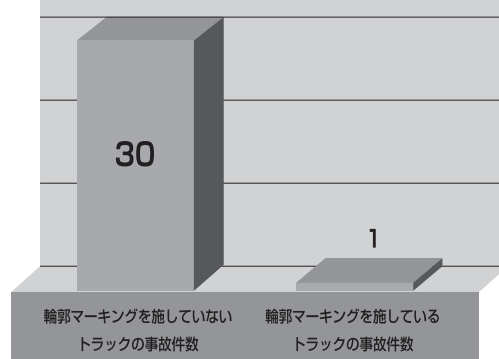
### ■ヨーロッパにおける研究報告

- 夜間や薄暮におけるトラックの側面・後面への衝突事故の約40%が“みられやすさ”（コンスピキュイティ）不足により発生している。
- 再帰反射材の輪郭マーキングを施したトラックの事故件数は、施していないトラックの事故件数の約1/30だった。

### ■米国における研究報告

- 再帰反射材による車両マーキングは重量トレーラーの側面・後面への衝突事故を約30%減少させた。特に夜間では約40%減少させた。

### ■事故件数対比



Eマークとは:国際的な車両型式認証の相互承認制度(IWVTA)に基づき、協定規則の要件に適合した製品に付記することができるマーク。このマーク入り製品は「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示 第55条の2」に定められている基準に適合している製品です。



## スリーエム ジャパン株式会社

コマーシャルブランディング&トランスポーテーション営業本部

本社 〒141-8684 東京都品川区北品川6丁目7番29号  
URL <https://www.mmm.co.jp>



# その声を安心に変えて。

補償範囲を見直してほしいというリクエスト。

規約がわかりづらいといった、ご指摘。

毎日、お客さま一人ひとりの声に全力で耳を傾ける。

毎日、いただいた声を元に保険を見直し続ける。

そうやって、私たちが向き合っているのは、

目の前のお客さまの安心だけではなく、

未来のお客さまの安心でもある。

これからも、ずっと。

お客さまの声に向き合い、進化をつづけていく。

